

葛飾区前期実施計画作成に係る
転入者アンケート調査及び転出者アンケート調査

報告書

令和2年7月

葛飾区

目次

I. アンケート概要.....	1
1. 名称・目的など.....	3
(1) 調査名称.....	3
(2) 調査目的.....	3
(3) 調査対象・発送数.....	3
(4) 抽出方法.....	3
(5) 調査時期.....	3
(6) 調査方法.....	3
(7) 調査機関.....	3
(8) 回収率.....	3
(9) 報告書におけるグラフおよび表の見方.....	4
(10) 標本誤差について.....	4
2. 調査結果まとめ（転入者調査・転出者調査）.....	5
(1) 調査の回答者属性.....	5
(2) 転入先に葛飾区を選んだ理由.....	5
(3) 葛飾区から転出した理由.....	5
(4) 葛飾区に対する評価.....	5
3. 転入者調査票.....	6
4. 転出者調査票.....	10
II. 転入者調査.....	15
1. 基本属性.....	17
(1) 性別.....	17
(2) 年齢.....	17
(3) 家族構成.....	18

(4) 職業	18
(5) 居住地区	19
(6) 住居形態	19
(7) 転入前の居住地区	20
2. 転入理由・葛飾区の住みやすさなどについて	21
(1) 葛飾区に転入した理由	21
(2) 転入時に葛飾区以外の区市町村でも住まいを探したか	23
(3) 転入先に葛飾区を選んだ理由	26
(4) 葛飾区での定住意向	29
(5) 葛飾区からの転出理由（想定）	33
(6) 葛飾区に対する評価	35
(7) 自由意見	37
Ⅲ. 転出者調査	39
1. 基本属性	41
(1) 性別	41
(2) 年齢	41
(3) 家族構成	42
(4) 職業	42
(5) 居住地区	43
(6) 住居形態	43
(7) 転出先の居住地区	44
2. 転出理由・葛飾区の住みやすさなどについて	45
(1) 葛飾区から転出した理由	45
(2) 転出時に葛飾区でも住まいを探したか	47
(3) 転出先の自治体を選んだ理由	50

(4) 葛飾区に対する評価	53
(5) 自由意見	55
IV. 調査結果比較	57
1. 転入者調査と転出者調査の比較	59
(1) 転入前・転出後の居住地区	59
(2) 転入・転出の理由	59
(3) 転入先に葛飾区を選んだ理由・転出先の自治体を選んだ理由	60
(4) 葛飾区に対する評価	60
2. 平成 30 年度転入者調査と令和 2 年度転入者調査との比較	61
(1) 平成 30 年度「葛飾区中期実施計画策定に係る転入者アンケート調査」概要	61
(2) 葛飾区に転入した理由	61
(3) 転入時に葛飾区以外の区市町村でも住まいを探したか	62
(4) 転入先に葛飾区を選んだ理由	63
(5) 葛飾区に対する評価	64
V. 自由回答	65
1. 転入者調査	67
2. 転出者調査	83

I. アンケート概要

1. 名称・目的など

(1) 調査名称

葛飾区前期実施計画策定に係る転入者アンケート調査及び転出者アンケート調査

(2) 調査目的

「葛飾区前期実施計画（令和3年度～令和6年度）」策定に当たり、葛飾区に転入した方並びに葛飾区から転出した方を対象として、葛飾区での住みやすさや転入・転出の理由を把握し、計画策定の参考資料とすることを目的として実施しました。

以後、転入者を対象としたアンケート調査を転入者調査、転出者を対象としたアンケート調査を転出者調査と言います。

(3) 調査対象・発送数

転入者調査：平成30年9月1日～令和元年8月31日に葛飾区に転入した世帯の世帯主のうち、
令和2年4月1日現在で住民登録のある1,500人

転出者調査：平成30年9月1日～令和元年8月31日に葛飾区から転出した世帯の世帯主のうち、
令和2年4月1日現在で葛飾区に住民登録のない1,500人

(4) 抽出方法

調査対象の中から無作為抽出

(5) 調査時期

令和2年5月8日～令和2年5月22日

令和2年5月25日～令和2年5月29日（督促期間）

(6) 調査方法

郵送によるアンケート調査（郵送配布・郵送回収）

(7) 調査機関

株式会社CCNグループ

(8) 回収率

	発送数	回収数	回収率
①転入者調査	1,500件	550件	36.7%
②転出者調査	1,500件	394件	26.3%

(9) 報告書におけるグラフおよび表の見方

- ① グラフ内の「N」は設問に対する回答の合計数です。
- ② 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、グラフ中の回答比率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答を求めた設問（設問の末尾に〈複数回答〉と記載されているもの）は、設問に対する回答者数を母数として各選択肢の割合を算出しているため、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ④ 単一回答を求めた設問（設問の末尾に〈単一回答〉と記載されているもの）は、選択肢を選ばなかった方も含めて集計しています。複数回答を求めた設問は、選択肢を選ばなかった方は除いて集計しています。
- ⑤ 各設問にて性別、年代別等を分析軸としたクロス集計を行っていますが、分析軸となる設問で「無回答」と回答した人数は割愛してクロス集計をしているため、性別・年代別の各人数を合計しても、回答者総数にはならない場合があります。

(10) 標本誤差について

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数（n、回答者数）、回答の比率（p）によって誤差範囲が異なります。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合です。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数です。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N：母集団数、n：サンプル数（有効回答数）、p：回答比率

○転入者調査標本誤差早見表

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
550	±2.00%	±2.66%	±3.05%	±3.26%	±3.33%
411	±2.47%	±3.30%	±3.78%	±4.04%	±4.12%
366	±2.67%	±3.56%	±4.08%	±4.37%	±4.46%

○転出者調査標本誤差早見表

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
394	±2.54%	±3.39%	±3.89%	±4.16%	±4.24%
219	±3.67%	±4.90%	±5.61%	±6.00%	±6.12%

○この表の見方

例えば「ある設問の回答者数が550人おり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.26以内である」とみることができます。

2. 調査結果まとめ（転入者調査・転出者調査）

（1）調査の回答者属性

①転入者調査

- 家族構成は単身者が6割近くを占め、夫婦のみ・2世代が2割弱です。
- 葛飾区での住居は、借家が7割強を占めており、持ち家率は2割近くです。
- 3割台半ばの人が23区からの転入です。東京市町村からの転入より、千葉県・埼玉県・神奈川県それぞれからの転入の方が多いです。

②転出者調査

- 家族構成は単身者が5割近くを占め、2世代が3割近く、夫婦のみが約2割です。
- 転出先の住居は借家が約7割を占めており、持ち家率は2割近くです。
- 転出先は4割強が23区、3割強が千葉県・埼玉県・神奈川県、2割強がそれ以外の道府県です。

（2）転入先に葛飾区を選んだ理由

- 仕事の都合、住宅の購入・借り換えでの転入が多いです。男女ともに仕事の都合を理由とした転入が特に多いです。
- 転居先として主体的に葛飾を選んだ人は7割台半ばで、そのうち2割近くが葛飾区に住むことを決めていました。葛飾区を選んだ理由は、交通の便と住宅事情が特に多く、生活の便が続きます。
- 転入者の定住意向は、3割強が住み続けたいと思っています。持家、一戸建ての借家の人で定住意向が高く、マンション・アパート等の借家の人相対的に低いです。

（3）葛飾区から転出した理由

- 仕事の都合、住居の購入・借り換えでの転出が多いです。女性は、男性に比べて結婚を理由とした転出が多いです。
- 転居先を主体的に選んだ人は5割台半ばで、そのうち葛飾区内での転居を検討した人は2割強です。区外に転出する理由は、交通の便と住宅事情が特に多いことは転入理由と同様ですが、転出理由では、街の雰囲気や治安が上位に挙げられています。交通の便・街の雰囲気を求める人は都内に、住宅事情・物価の安さを求める人は都外に転居しています。

（4）葛飾区に対する評価

- 転入者・転出者を問わず、生活の便・交通の便・自然環境に対する評価が高いです。
- 亀有・青戸地区、奥戸・新小岩地区での生活の便・交通の便が特に高い一方、金町・新宿地区、水元地区では交通の便の評価が低くなっています。金町・新宿地区、水元地区で自然環境の評価が高く、奥戸・新小岩地区では治安の点で評価が低くなっています。

3. 転入者調査票

葛飾区前期実施計画策定に係る転入者アンケート調査

～調査ご協力のお願い～

日頃から区政の推進にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

このたび葛飾区では、「葛飾区前期実施計画（令和3年度～令和6年度）策定に係る転入者アンケート調査」を行うことにいたしました。今回の調査は、平成30年9月1日から令和元年8月31日までに葛飾区に転入した方を対象に、葛飾区への転入理由、葛飾区の住みやすさなどについてご意見を伺い、前期実施計画策定の参考にするとともに、今後の区政推進の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年5月

葛飾区政策経営部政策企画課

ご回答に当たってのお願い

1. この調査の回答は、宛名のご本人がご記入いただきますようお願いいたします。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
4. 質問によって、○をつける数を「1つだけ」「あてはまるもの全て」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いいたします。
5. 「その他」にあてはまる場合は、（ ）にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、5月22日（金）までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容などについて、分からないことがございましたら、下記までご連絡ください。

（問い合わせ先）葛飾区コールセンター（はなしょうぶコール）

電話 03（6758）2222（年中無休 午前8時から午後8時まで）

FAX 03（6758）2223

メールアドレス callcenter@city.katsushika.tokyo.jp

（調査実施機関）株式会社CCNグループ（担当：鈴木）

住所 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4

電話 03（6262）9538

（調査主体）葛飾区政策経営部政策企画課（担当：八重樫）

住所 〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03（5654）8143（直通）

はじめに、あなたご自身のことについて、お伺いします。

F 1 性別（性別を記入してください）

()

F 2 年齢（○は1つだけ）

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | |

F 3 あなたの家族構成は、次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 親と子 |
| 4 親と子と孫 | 5 その他 () | |

F 4 あなたの職業は次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 自営・家族従業 | 2 お勤め（パート・アルバイト含む） |
| 3 家事 | 4 無職 |
| 5 学生 | 6 その他 () |

F 5 あなたのお住まいは次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|--------|
| 1 青戸 | 2 奥戸 | 3 お花茶屋 | 4 金町 | 5 鎌倉 |
| 6 亀有 | 7 小菅 | 8 柴又 | 9 白鳥 | 10 新小岩 |
| 11 高砂 | 12 宝町 | 13 立石 | 14 新宿 | 15 西亀有 |
| 16 西新小岩 | 17 西水元 | 18 東金町 | 19 東新小岩 | 20 東立石 |
| 21 東堀切 | 22 東水元 | 23 東四つ木 | 24 細田 | 25 堀切 |
| 26 水元 | 27 南水元 | 28 四つ木 | | |

F 6 あなたのお住まい（住居）は次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 2 持家（分譲マンション） |
| 3 借家（一戸建て） | 4 借家（マンション・アパート） |
| 5 借家（都営・区営など公営住宅） | 6 社宅・社員寮 |
| 7 その他 () | |

F 7 葛飾区への転入前の住所はどちらになりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 墨田区 | 2 足立区 |
| 3 江戸川区 | 4 墨田区・足立区・江戸川区以外の23区 |
| 5 23区以外の東京都内 | 6 千葉県 |
| 7 埼玉県 | 8 神奈川県 |
| 9 東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外の道府県 | 10 外国 |

葛飾区への転入理由、葛飾区の住みやすさなどについてお伺いします。

問1 葛飾区に転入した理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○)

- 1 仕事の都合(就職・転職・転勤など)
- 2 あなたの学校の都合(進学・転校など)
- 3 子どもの学校の都合(進学・転校など)
- 4 結婚のため
- 5 親や子ども、その他親族との同居のため
- 6 親や子ども、その他親族との近居のため
- 7 住宅の都合(家の購入・借家の借り換えなど)
- 8 生活環境(交通や買い物の利便性・治安など)を良くするため
- 9 その他()

**問2 転入するに当たって、葛飾区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。
(○は1つだけ)**

- 1 他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた
- 2 最初から葛飾区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった
- 3 転居先が葛飾区内に決まっていた(会社の寮や社宅が葛飾区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が葛飾区内にあった など)

→ (問2で「1」または「2」とお答えの方に)

問2-1 転入先に葛飾区を選んだ理由は何ですか。(○はあてはまるもの全て)

- 1 買い物など日常生活の便が良いから
- 2 通勤・通学などの交通の便が良いから
- 3 物価が安いから
- 4 親や子どもの近くに住みたかったから
- 5 住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから
- 6 病院等の医療体制が整っているから
- 7 子育て支援が充実しているから
- 8 教育環境が充実しているから
- 9 高齢者や障害者のための福祉が充実しているから
- 10 緑・公園・水辺などの自然環境が良いから
- 11 道路、下水道等の都市基盤が整備されているから
- 12 街並みや街の雰囲気が良いから
- 13 治安が良いから
- 14 図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから
- 15 その他()
- 16 特に理由はない

問3 将来的に、葛飾区に住み続ける予定ですか。(○は1つだけ)

- 1 住み続ける予定である
- 2 転出する予定がある
- 3 分からない、決まっていない

(問3で「2」または「3」とお答えの方に)

問3-1 あなたが将来、転出するとしたら、考えられる理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 仕事の都合 (就職・転職・転勤など)
- 2 あなたの学校の都合 (進学・転校など)
- 3 子どもの学校の都合 (進学・転校など)
- 4 結婚のため
- 5 親や子ども、その他親族との同居のため
- 6 親や子ども、その他親族との近居のため
- 7 住宅の都合 (家の購入・借家の借り換えなど)
- 8 生活環境 (交通や買い物の利便性・治安など) を良くするため
- 9 その他 ()

問4 葛飾区にお住まいになって、以下の各項目それぞれに対して、どのように思いますか。(○は各項目で1つだけ)

項目	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
①買い物など日常生活の便利さ	5	4	3	2	1
②交通の便利さ	5	4	3	2	1
③物価	5	4	3	2	1
④近所づきあい	5	4	3	2	1
⑤住宅条件 (広さ、日当たり、家賃など)	5	4	3	2	1
⑥病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑦子育て環境	5	4	3	2	1
⑧教育環境	5	4	3	2	1
⑨高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑩緑・公園・水辺などの自然環境	5	4	3	2	1
⑪道路、下水道等の都市基盤	5	4	3	2	1
⑫街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑬治安	5	4	3	2	1
⑭図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設	5	4	3	2	1

問5 葛飾区に住んで感じたことをお書きください。
(以前住んでいた所との違い、葛飾区に望むことなど)

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

4. 転出者調査票

葛飾区前期実施計画策定に係る転出者アンケート調査

～調査ご協力のお願い～

日頃から区政の推進にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

この度葛飾区では、「葛飾区前期実施計画（令和3年度～令和6年度）策定に係る転出者アンケート調査」を行うことにいたしました。今回の調査は、平成30年9月1日から令和元年8月31日までに葛飾区から転出した方を対象に、葛飾区からの転出理由、葛飾区の住みやすさなどについてご意見を伺い、前期実施計画策定の参考にするとともに、今後の区政推進の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年5月

葛飾区政策経営部政策企画課

ご回答に当たってのお願い

1. この調査の回答は、宛名のご本人がご記入いただきますようお願いいたします。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
4. 質問によって、○をつける数を「1つだけ」「あてはまるもの全て」などと指定していますので、その範囲内でお答えいただきますようお願いいたします。
5. 「その他」にあてはまる場合は、() にできるだけ具体的にその内容を記入してください。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、5月22日（金）までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。なお、調査の内容などについて、分からないことがございましたら、下記までご連絡ください。

(問い合わせ先) 葛飾区コールセンター（はなしょうぶコール）

電話 03（6758）2222（年中無休 午前8時から午後8時まで）

FAX 03（6758）2223

メールアドレス callcenter@city.katsushika.tokyo.jp

(調査実施機関) 株式会社CCNグループ（担当：鈴木）

住所 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-4

電話 03（6262）9538

(調査主体) 葛飾区政策経営部政策企画課（担当：八重樫）

住所 〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03（5654）8143（直通）

はじめに、あなたご自身のことについて、お伺いします。
葛飾区から転出時の状況についてお答えください。

F 1 性別（性別を記入してください）

()

F 2 年齢（○は1つだけ）

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | |

F 3 あなたの家族構成は、次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ | 3 親と子 |
| 4 親と子と孫 | 5 その他 () | |

F 4 あなたの職業は次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|--------------------|
| 1 自営・家族従業 | 2 お勤め（パート・アルバイト含む） |
| 3 家事 | 4 無職 |
| 5 学生 | 6 その他 () |

F 5 あなたのお住まいは次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | | | | |
|---------|--------|---------|---------|--------|
| 1 青戸 | 2 奥戸 | 3 お花茶屋 | 4 金町 | 5 鎌倉 |
| 6 亀有 | 7 小菅 | 8 柴又 | 9 白鳥 | 10 新小岩 |
| 11 高砂 | 12 宝町 | 13 立石 | 14 新宿 | 15 西亀有 |
| 16 西新小岩 | 17 西水元 | 18 東金町 | 19 東新小岩 | 20 東立石 |
| 21 東堀切 | 22 東水元 | 23 東四つ木 | 24 細田 | 25 堀切 |
| 26 水元 | 27 南水元 | 28 四つ木 | | |

F 6 あなたのお住まい（住居）は次のどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 2 持家（分譲マンション） |
| 3 借家（一戸建て） | 4 借家（マンション・アパート） |
| 5 借家（都営・区営など公営住宅） | 6 社宅・社員寮 |
| 7 その他 () | |

F 7 葛飾区からの転出先の住所はどちらになりますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 墨田区 | 2 足立区 |
| 3 江戸川区 | 4 墨田区・足立区・江戸川区以外の23区 |
| 5 23区以外の東京都内 | 6 千葉県 |
| 7 埼玉県 | 8 神奈川県 |
| 9 東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外の道府県 | 10 外国 |

葛飾区からの転出理由、葛飾区の住みやすさなどについてお伺いします。

問1 葛飾区から転出した理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○)

- 1 仕事の都合(就職・転職・転勤など)
- 2 あなたの学校の都合(進学・転校など)
- 3 子どもの学校の都合(進学・転校など)
- 4 結婚のため
- 5 親や子ども、その他親族との同居のため
- 6 親や子ども、その他親族との近居のため
- 7 住宅の都合(家の購入・借家の借り換えなど)
- 8 生活環境(交通や買い物の利便性・治安など)を良くするため
- 9 その他()

問2 転出するに当たって、葛飾区内でもお住まいを探しましたか。(○は1つだけ)

- 1 葛飾区内でも探したが、他の区市町村に決めた
- 2 最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった
- 3 転居先が他の区市町村に決まっていた(会社の寮や社宅が葛飾区外だった、同居をはじめ家族の住宅が葛飾区外にあった など)

(問2で「1」または「2」とお答えの方に)

問2-1 転出先に他の区市町村を選んだ理由は何ですか。

(○はあてはまるもの全て)

- 1 買い物など日常生活の便が良いから
- 2 通勤・通学などの交通の便が良いから
- 3 物価が安いから
- 4 親や子どもの近くに住みたかったから
- 5 住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから
- 6 病院等の医療体制が整っているから
- 7 子育て支援が充実しているから
- 8 教育環境が充実しているから
- 9 高齢者や障害者のための福祉が充実しているから
- 10 緑・公園・水辺などの自然環境が良いから
- 11 道路、下水道等の都市基盤が整備されているから
- 12 街並みや街の雰囲気が良いから
- 13 治安が良いから
- 14 図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから
- 15 その他()
- 16 特に理由はない

問3 葛飾区にお住まいになっていた時、以下の各項目それぞれに対して、どのように思っていましたか。(○は各項目で1つだけ)

項 目	良い	やや良い	どちらとも いえません	やや悪い	悪い
①買い物など日常生活の便利さ	5	4	3	2	1
②交通の便利さ	5	4	3	2	1
③物価	5	4	3	2	1
④近所づきあい	5	4	3	2	1
⑤住宅条件（広さ、日当たり、家賃など）	5	4	3	2	1
⑥病院等の医療体制	5	4	3	2	1
⑦子育て環境	5	4	3	2	1
⑧教育環境	5	4	3	2	1
⑨高齢者や障害者のための福祉	5	4	3	2	1
⑩緑・公園・水辺などの自然環境	5	4	3	2	1
⑪道路、下水道等の都市基盤	5	4	3	2	1
⑫街並みや街の雰囲気	5	4	3	2	1
⑬治安	5	4	3	2	1
⑭図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設	5	4	3	2	1

問4 葛飾区に住んでいて感じたことをお書きください。
(現在住んでいる所との違い、葛飾区に望むことなど)

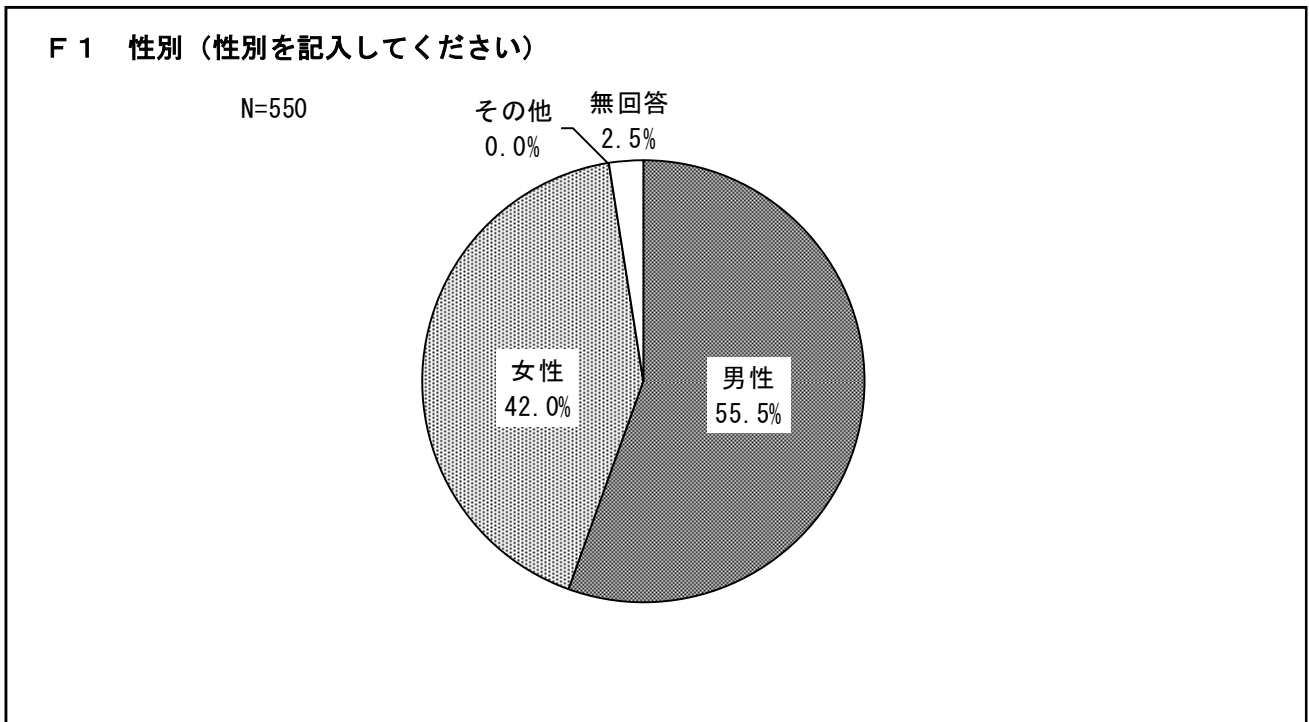
以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

Ⅱ. 転入者調査

1. 基本属性

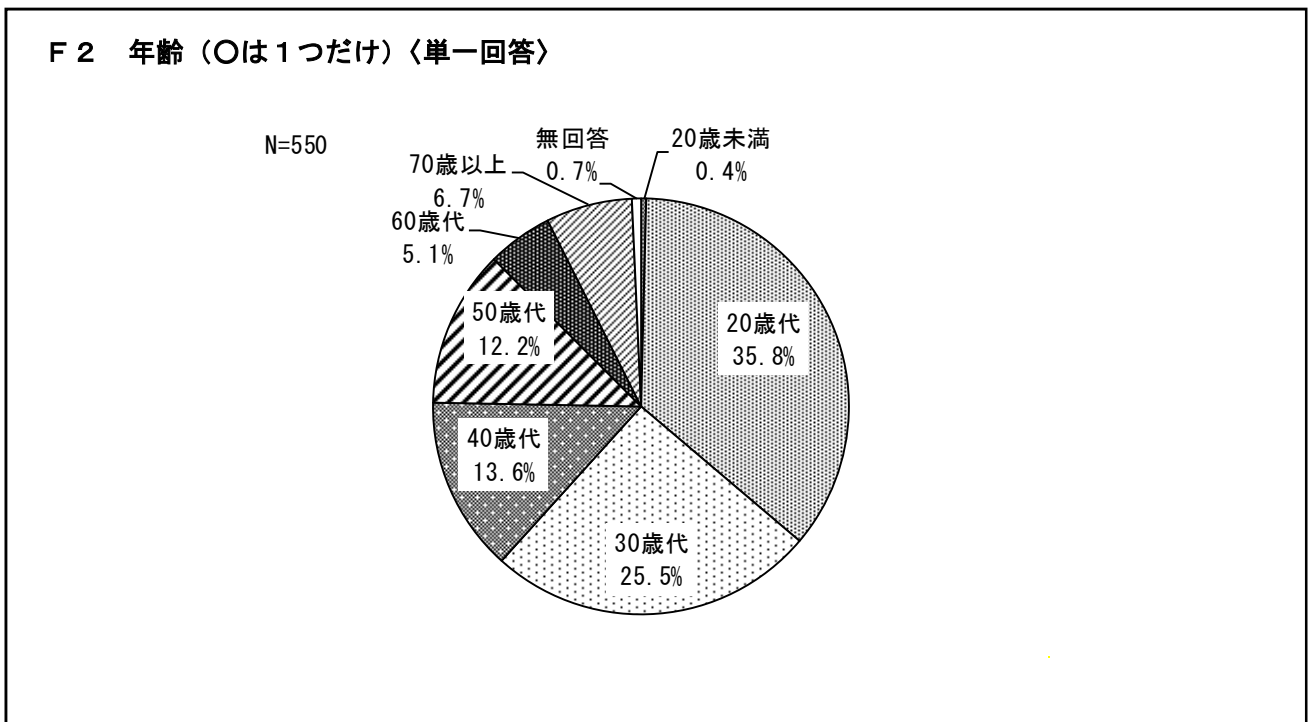
(1) 性別

「男性」が55.5%、「女性」が42.0%です。



(2) 年齢

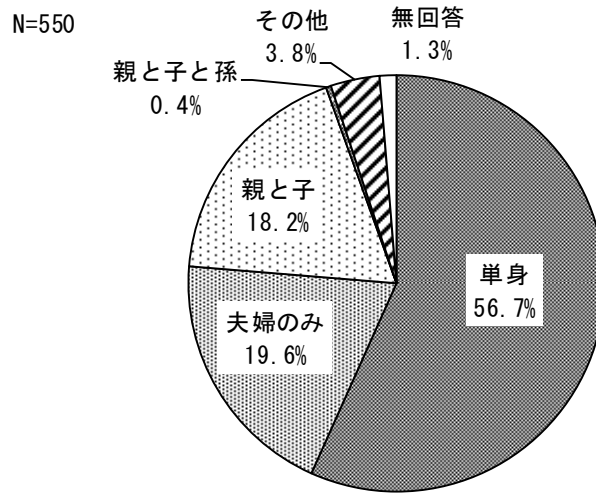
「20歳代」が35.8%で最も多く、次いで「30歳代」が25.5%、「40歳代」が13.6%で続きます。



(3) 家族構成

「単身」が56.7%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が19.6%、「親と子」が18.2%で続きます。

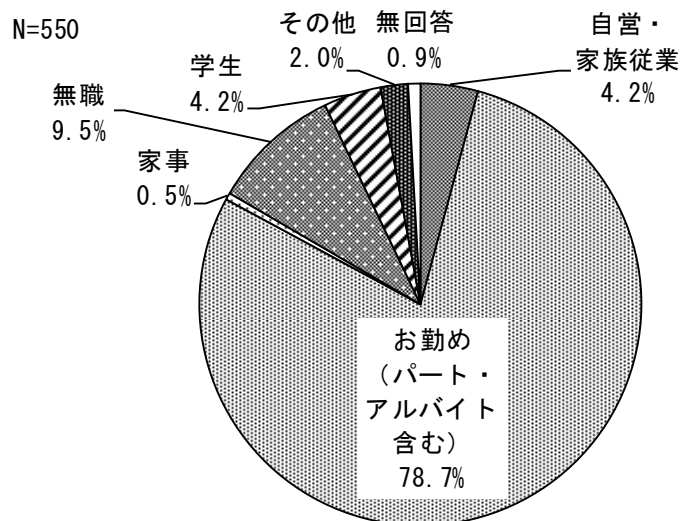
F 3 あなたの家族構成は、次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)〈単一回答〉



(4) 職業

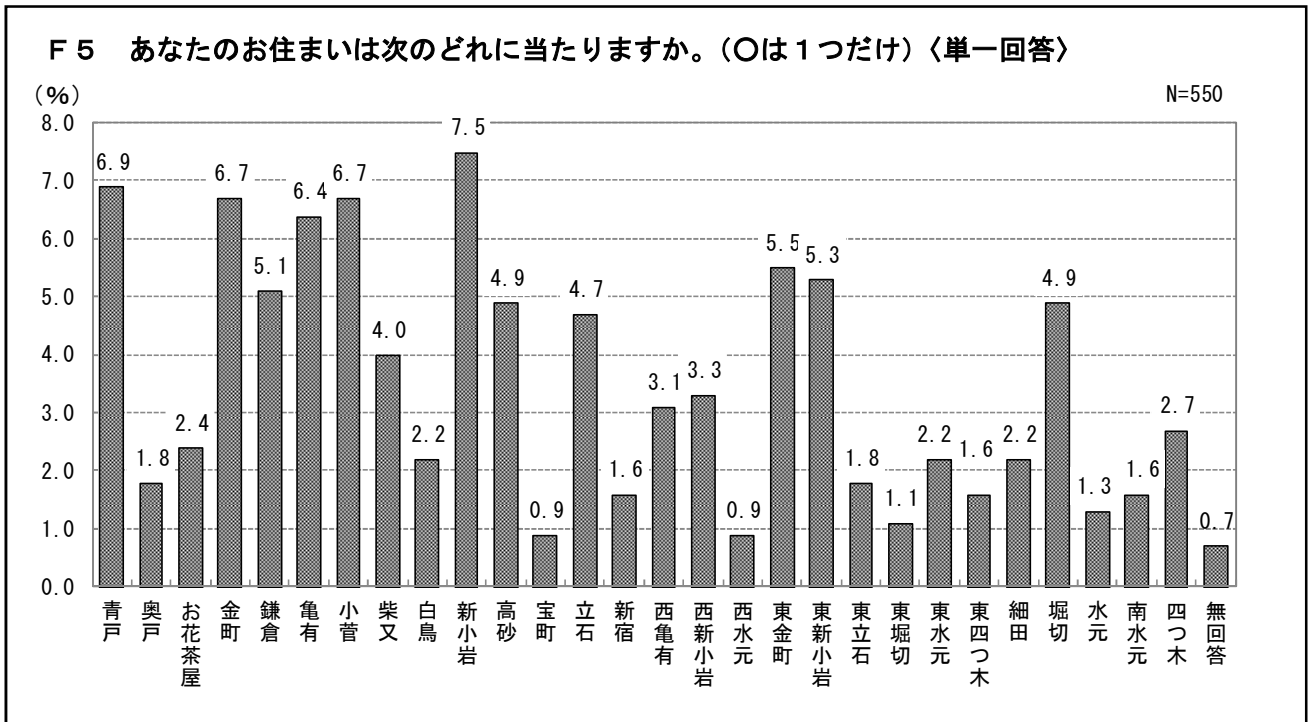
「お勤め (パート・アルバイト含む)」が78.7%で最も多く、次いで「無職」が9.5%、「自営・家族従業」と「学生」が4.2%で続きます。

F 4 あなたの職業は次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)〈単一回答〉



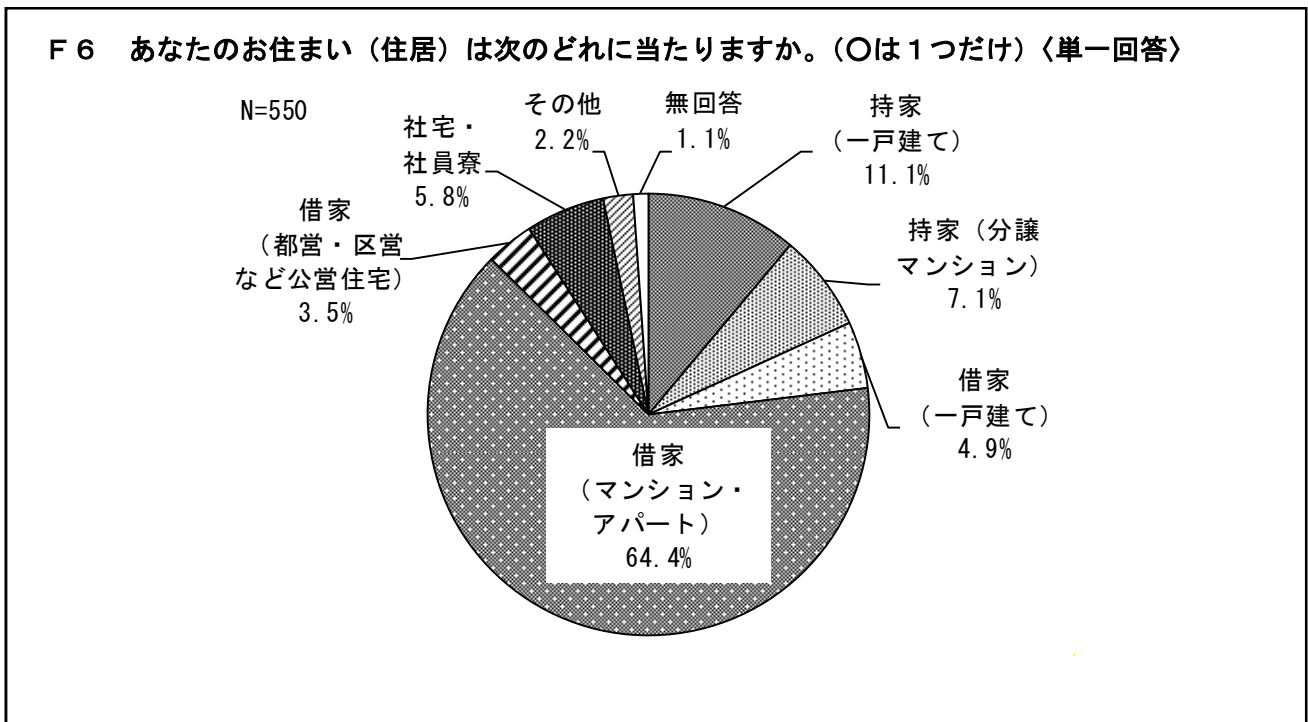
(5) 居住地区

「新小岩」が7.5%で最も多く、次いで「青戸」が6.9%、「金町」と「小菅」が6.7%で続きます。



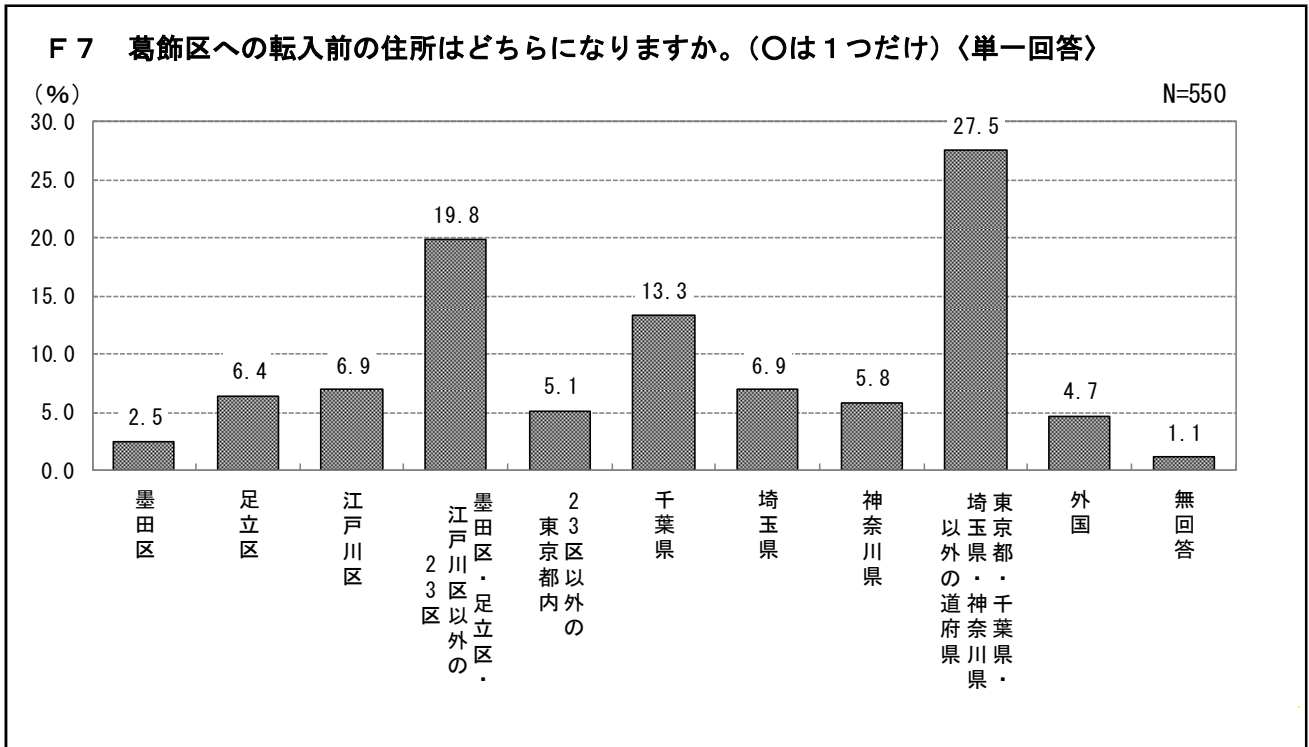
(6) 住居形態

「借家 (マンション・アパート)」が64.4%も多く、次いで「持家 (一戸建て)」が11.1%、「持家 (分譲マンション)」が7.1%で続きます。



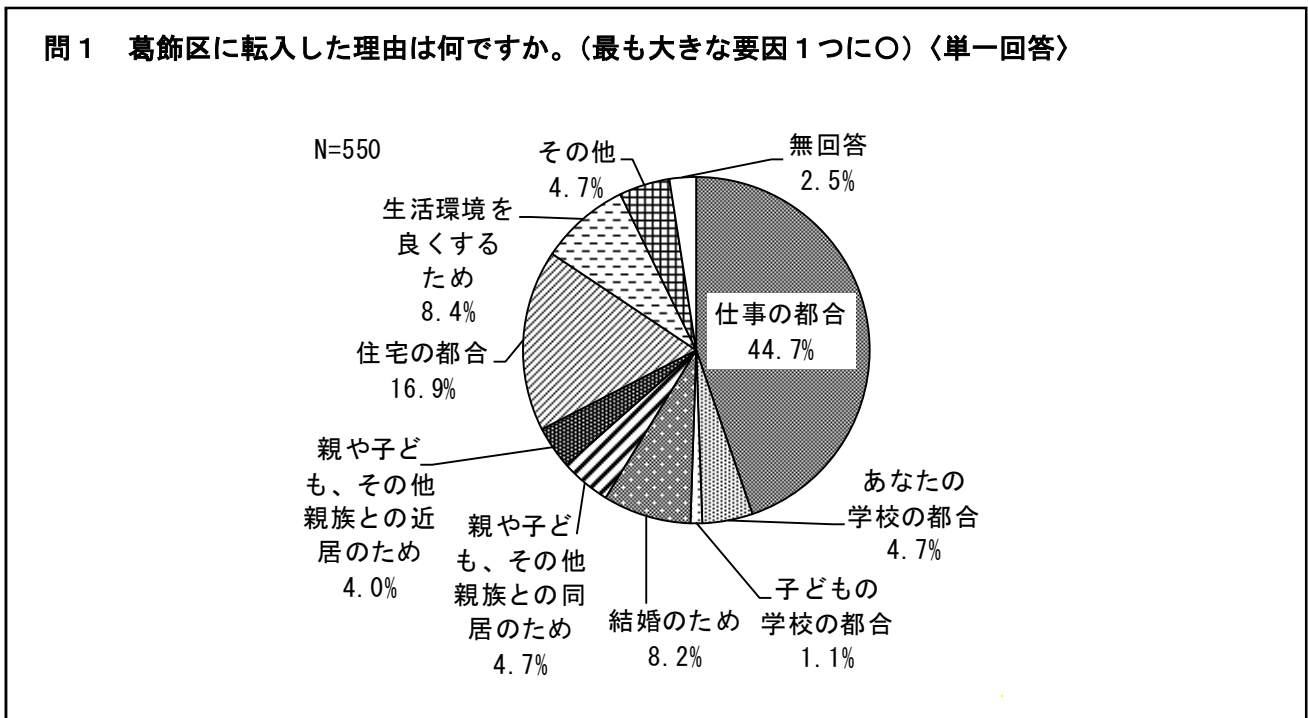
(7) 転入前の居住地区

「東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外の道府県」が27.5%で最も多く、次いで「墨田区・足立区・江戸川区以外の23区」が19.8%、「千葉県」が13.3%で続きます。



2. 転入理由・葛飾区の住みやすさなどについて

(1) 葛飾区に転入した理由



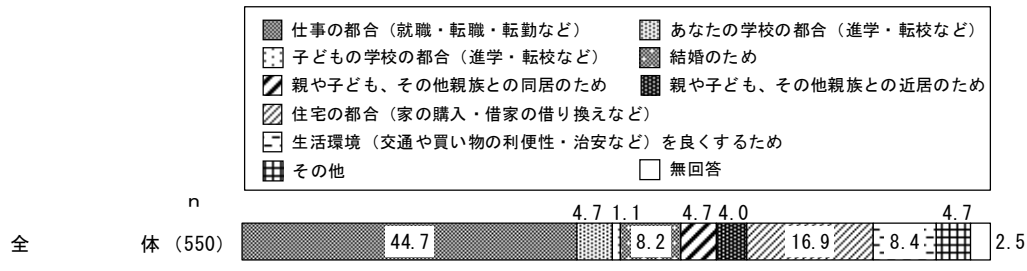
「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」が44.7%で最も多く、次いで「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が16.9%、「生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするため」が8.4%で続きます。「親や子ども、その他親族との同居のため」「親や子ども、その他親族との近居のため」をあわせると8.7%になり、「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」に次いで多くなります。

【性別・年代別による分析】

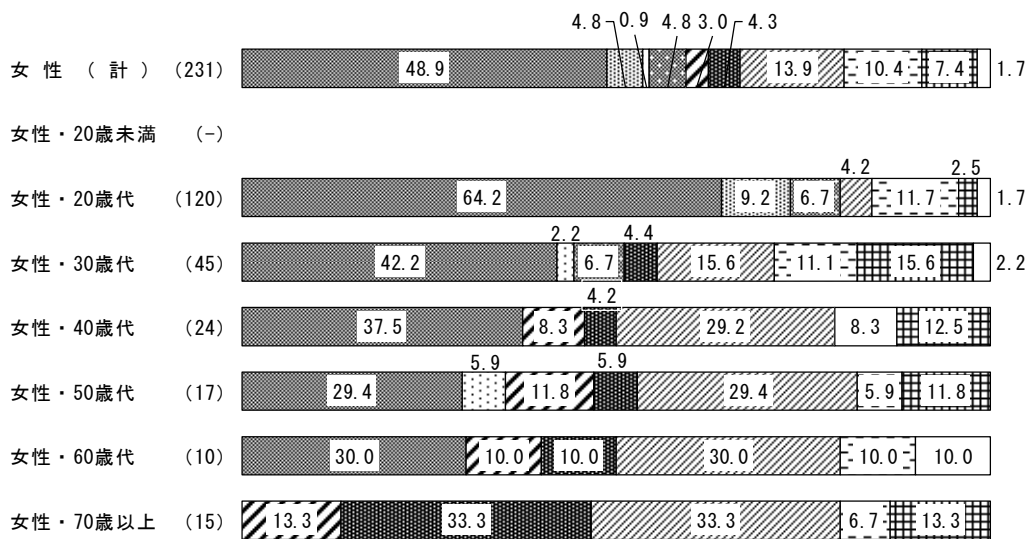
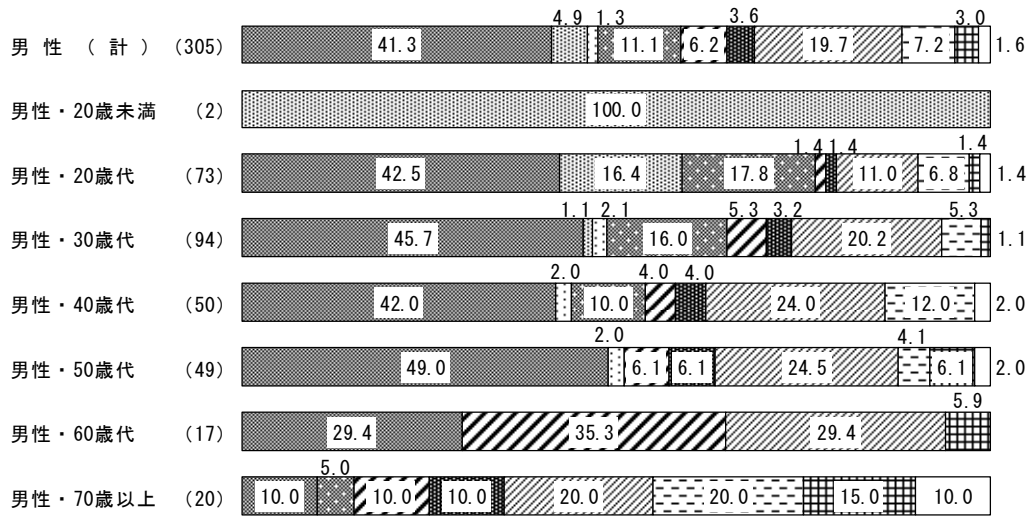
性別で見ると、「結婚のため」は男性（11.1%）が女性（4.8%）より6.3ポイント高く、「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」も男性（19.7%）が女性（13.9%）より5.8ポイント高いです。一方、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」は女性（48.9%）が男性（41.3%）より7.6ポイント高いです。

性・年代別にみると、男性・女性とも20歳代で「結婚のため」が比較的多いです。また、男性は60歳代まで、女性は70歳代まで、年齢が上がるごとに「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が多くなっている傾向があります。

〈葛飾区に転入した理由—性別・年代別〉

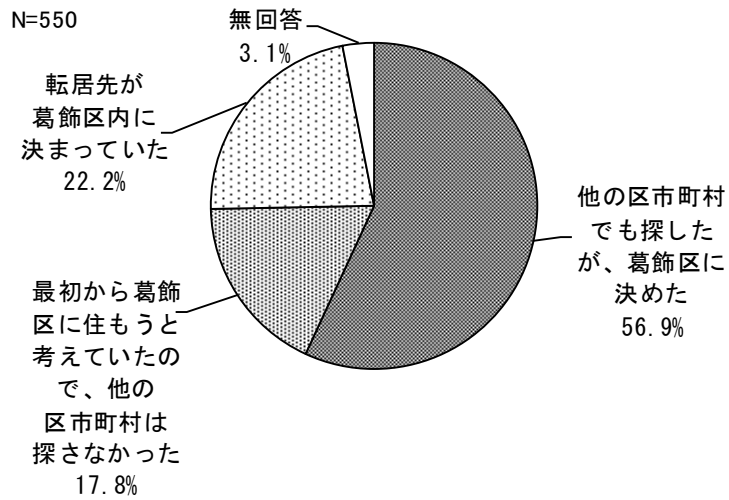


【性・年代別】



(2) 転入時に葛飾区以外の区市町村でも住まいを探したか

問2 転入するに当たって、葛飾区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。
 (〇は1つだけ)〈単一回答〉



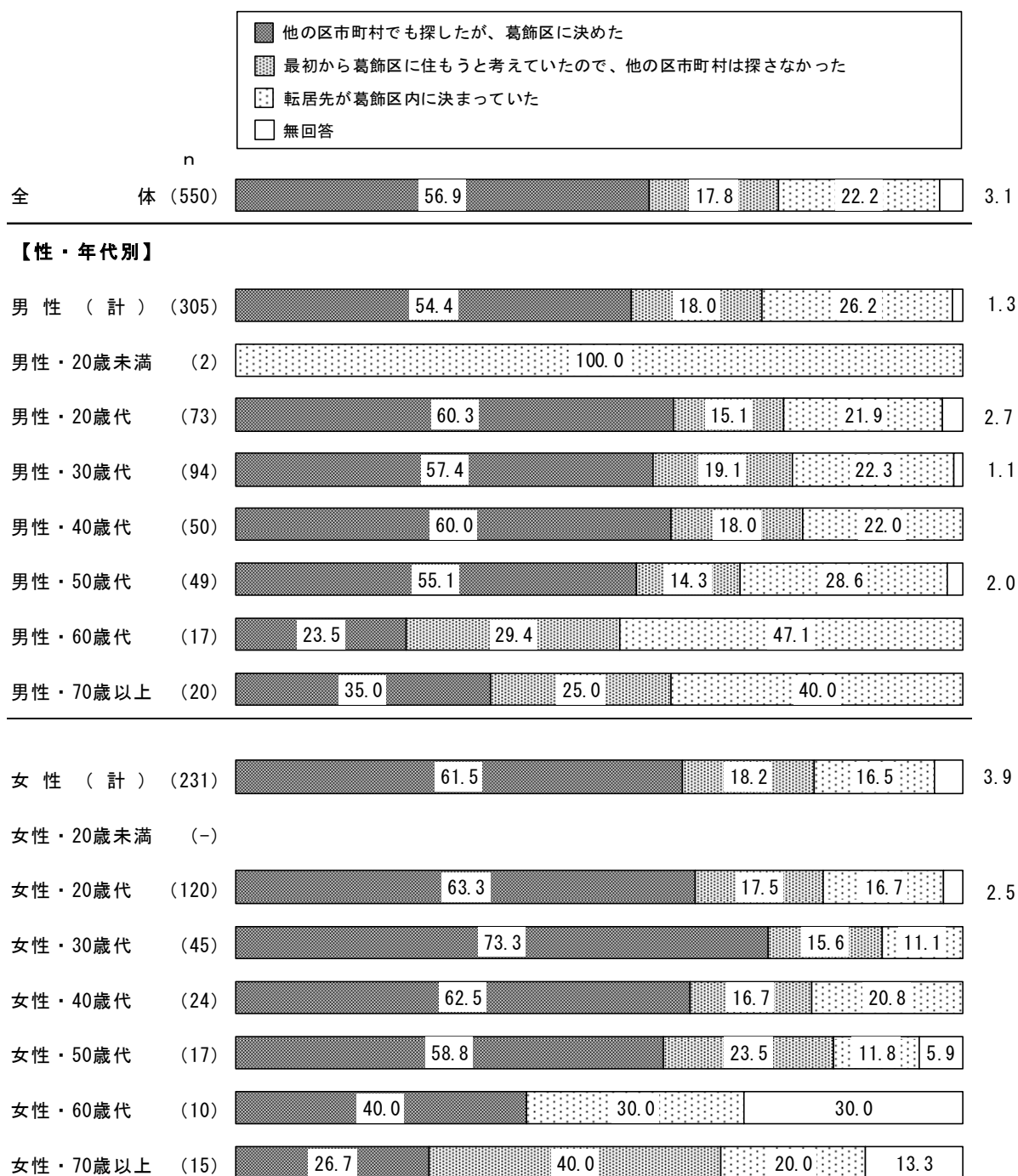
「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」が56.9%で最も多く、「転居先が葛飾区内に決まっていた」が22.2%で続きます。

【性別・年代別による分析】

性別で見ると、「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」で女性（61.5%）が男性（54.4%）より7.1ポイント高いです。

性・年代別にみると、男性に関しては、60歳代から「最初から葛飾区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」が2割台半ば以上と多くなる傾向があります。女性は30歳代から年齢が上がるにつれて「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」が少なくなる傾向があります。

〈転入時に葛飾区以外の区市町でも住まいを探したか—性別・年代別〉

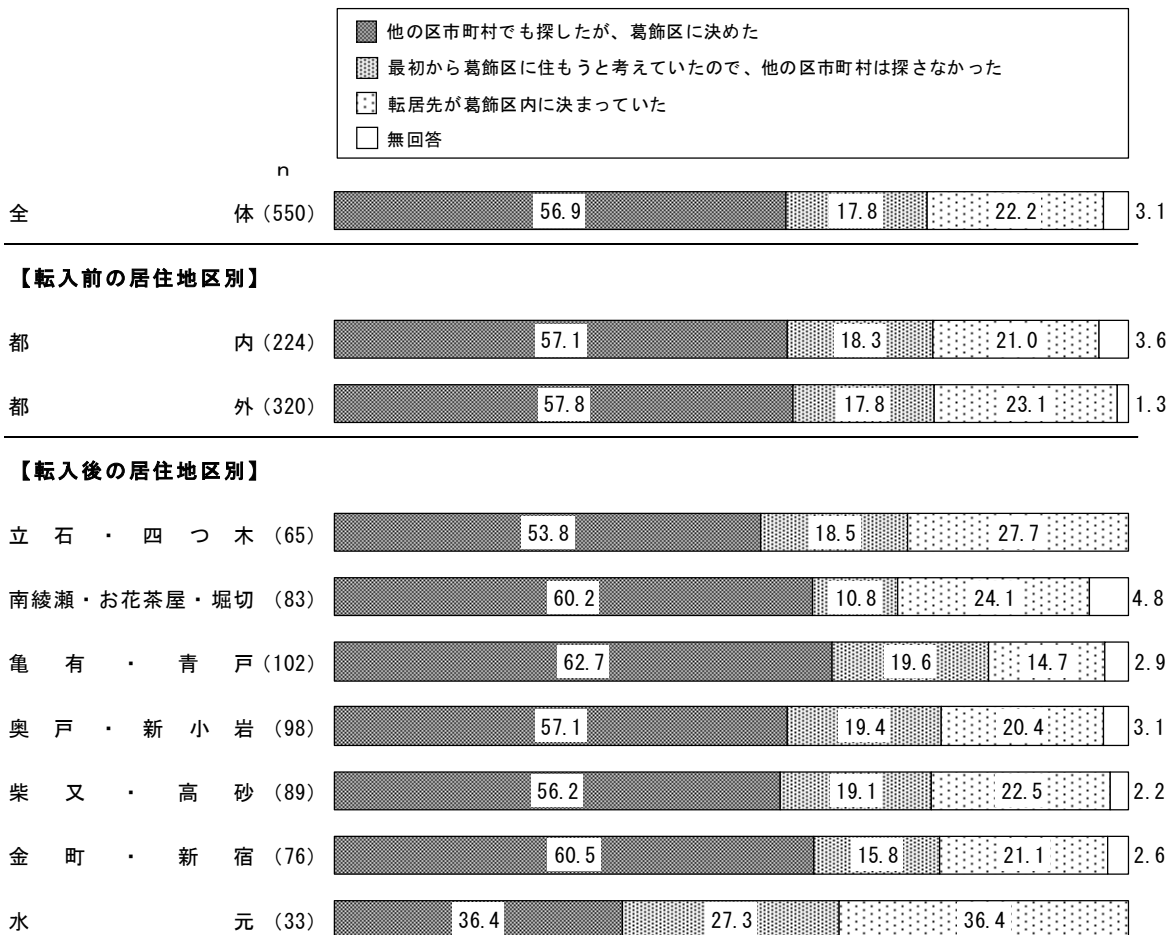


【転入前後の居住区による分析】

転入前の居住地区別にみると、「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」は都外（57.8%）が都内（57.1%）より0.7ポイント高いです。

転入後の居住地区別にみると、亀有・青戸を除く全ての地区で「転居先が葛飾区内に決まっていた」が2割を超えています。一方、水元を除く全ての地区で「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」が5割を超えています。

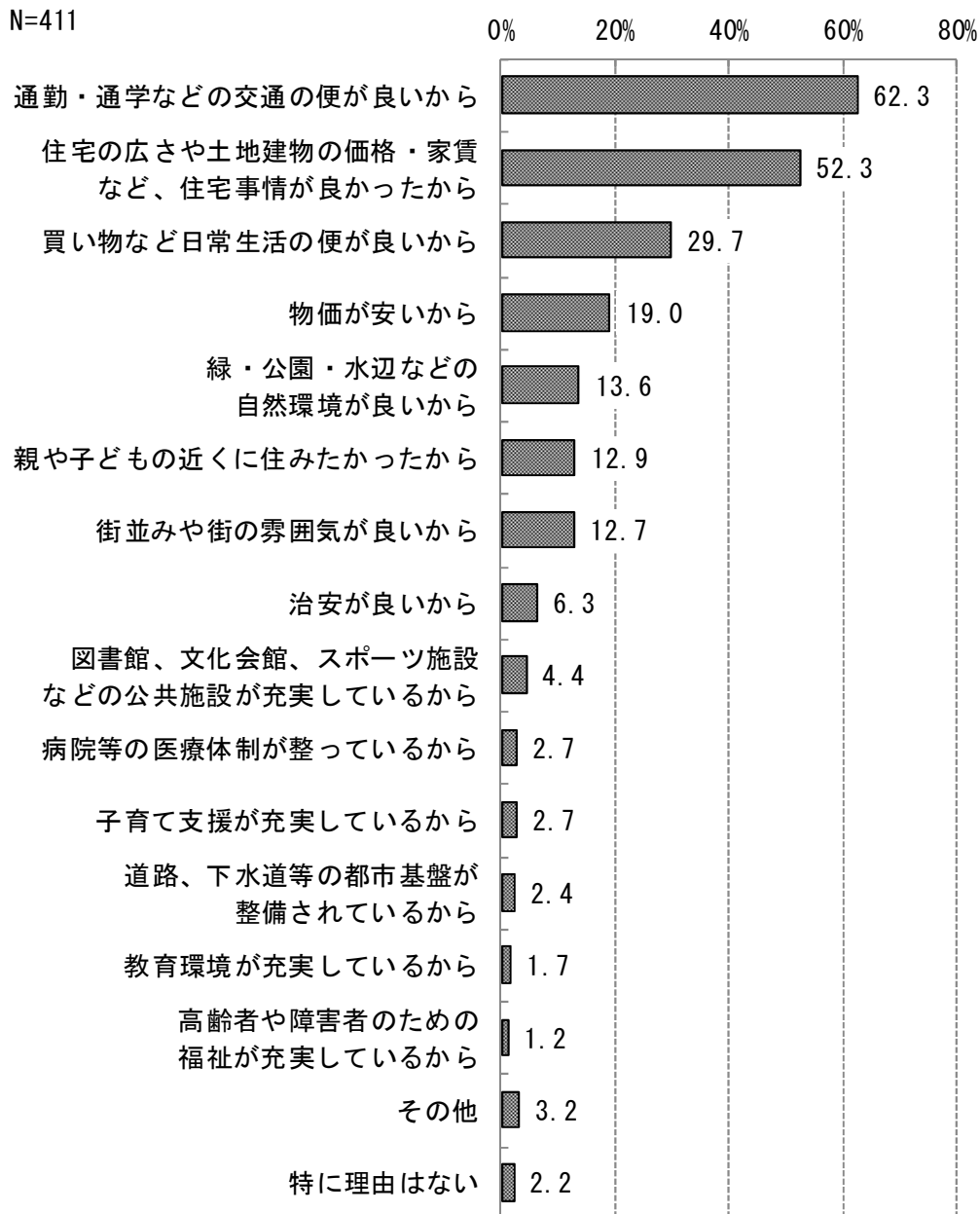
〈転入時に葛飾区以外の区市町村でも住まいを探したか—転入前後の居住地区別〉



(3) 転入先に葛飾区を選んだ理由

《問2で「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」または「最初から葛飾区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」を選択した411名の方》

問2-1 転入先に葛飾区を選んだ理由は何ですか。(〇は当てはまるもの全て)
 〈複数回答〉



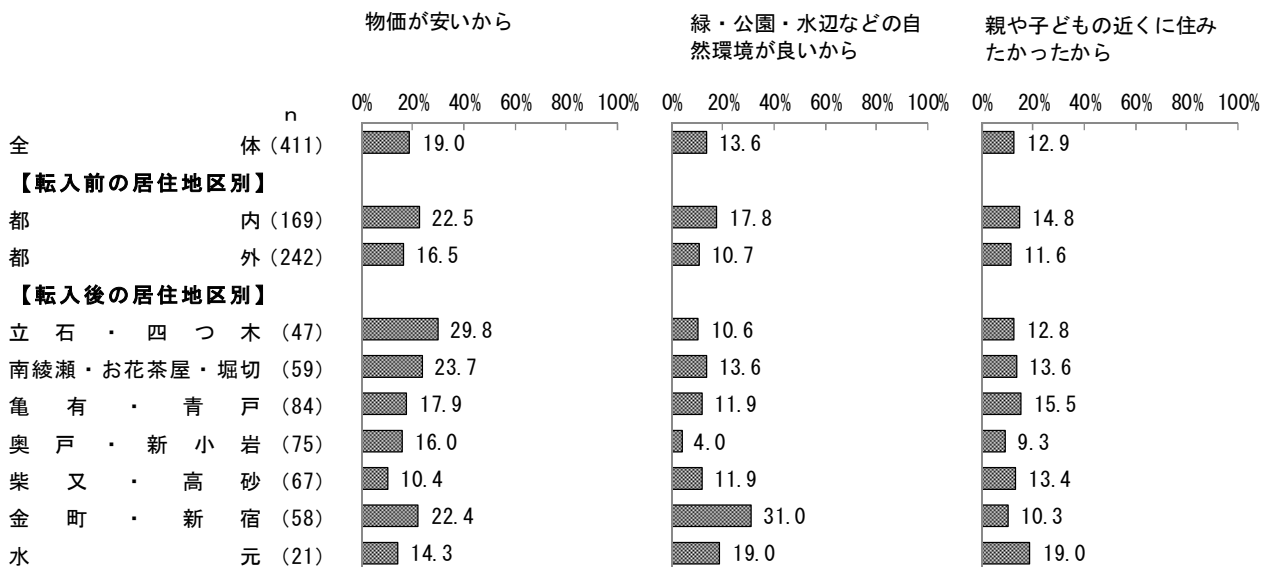
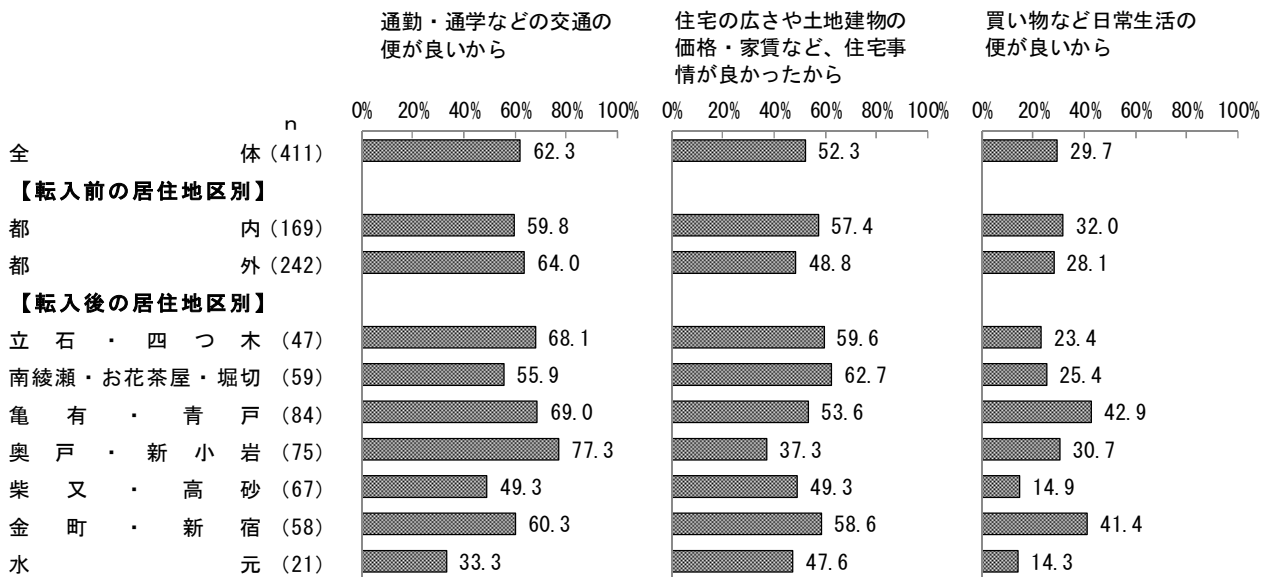
「通勤・通学などの交通の便が良いから」が62.3%で最も多く、次いで「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」が52.3%、「買い物など日常生活の便が良いから」が29.7%で続きます。

【転入前後の居住地区による分析】

転入前の居住地区別にみると、「通勤・通学などの交通の便が良いから」が都内（59.8%）よりも都外（64.0%）の方が4.2ポイント高いです。

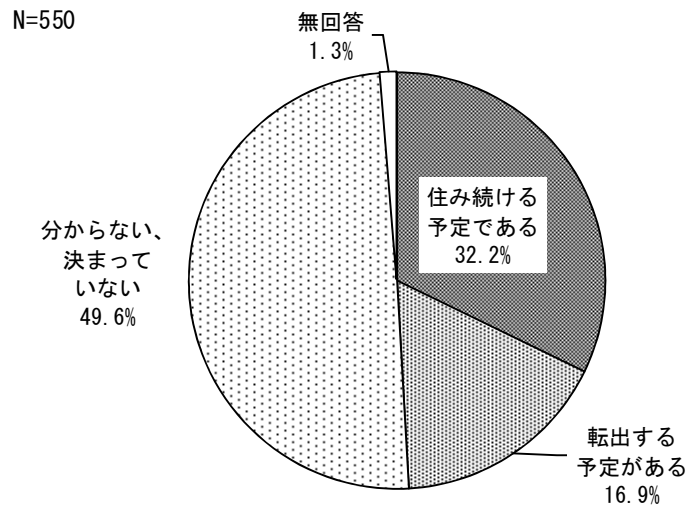
転入後の居住地区別にみると、「通勤・通学などの交通の便が良いから」が奥戸・新小岩で7割を超えているほか、立石・四つ木、亀有・青戸、金町・新宿で6割を超えています。「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」は南綾瀬・お花茶屋・堀切で6割を超えており、立石・四つ木、亀有・青戸、金町・新宿では5割を超えています。そのほか、「緑・公園・水辺などの自然環境が良いから」は金町・新宿で特に高い一方、奥戸・新小岩で特に低いです。

〈転入先に葛飾区を選んだ理由—転入前後の居住地区別（上位6項目）〉



(4) 葛飾区での定住意向

問3 将来的に、葛飾区に住み続ける予定ですか。(○は1つだけ)〈単一回答〉



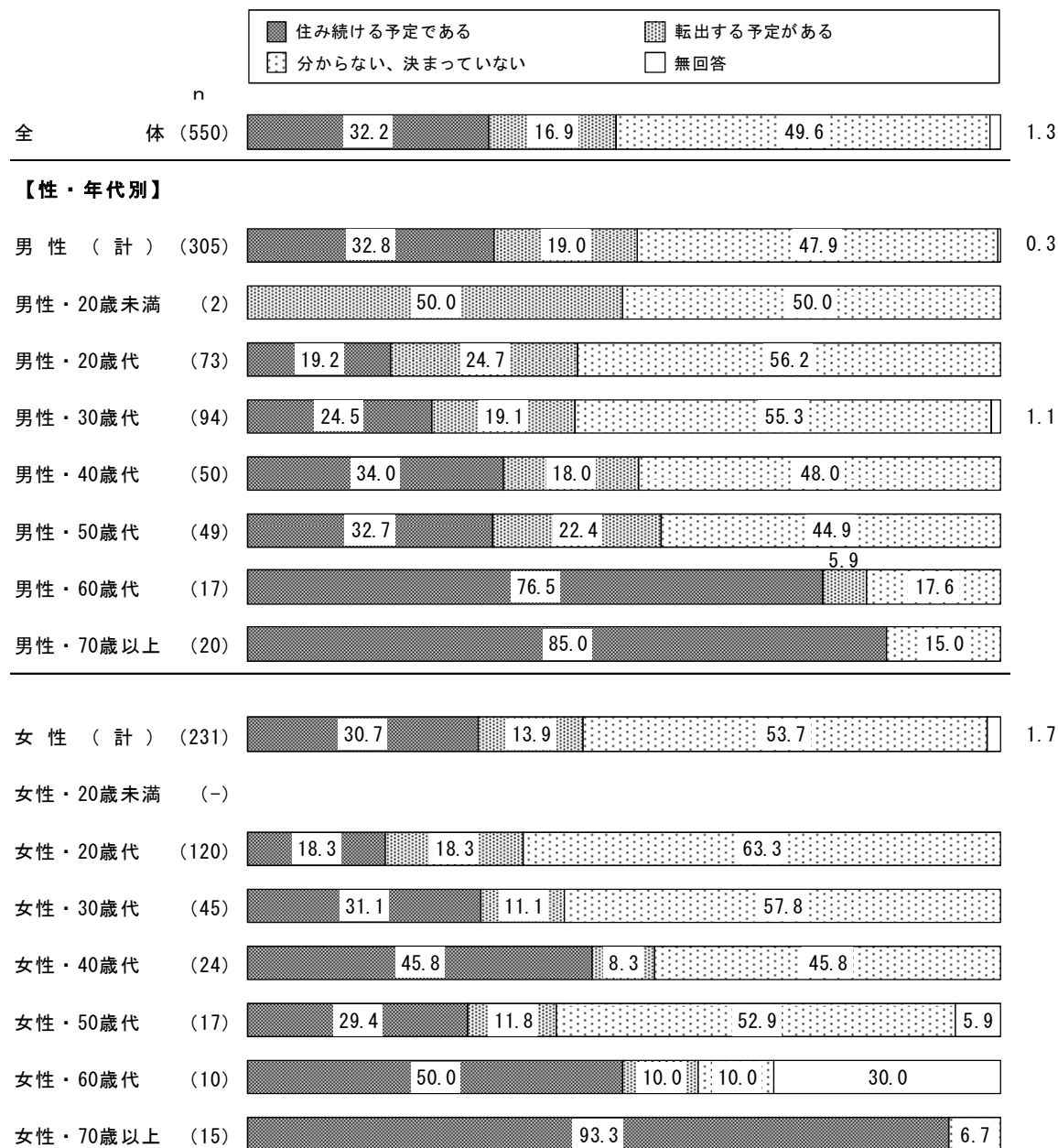
「分からない、決まっていない」が49.6%で最も多く、「住み続ける予定である」が32.2%で続きます。

【性別・年代別による分析】

性別で見ると、「住み続ける予定である」は男性（32.8%）が女性（30.7%）より2.1ポイント高いです。

性・年代別にみると、男性は年齢が上がるごとに「住み続ける予定である」が増加する傾向があります。また、「住み続ける予定である」は70歳以上の男性では8割、女性では9割を超えます。

〈葛飾区での定住意向—性別・年代別〉

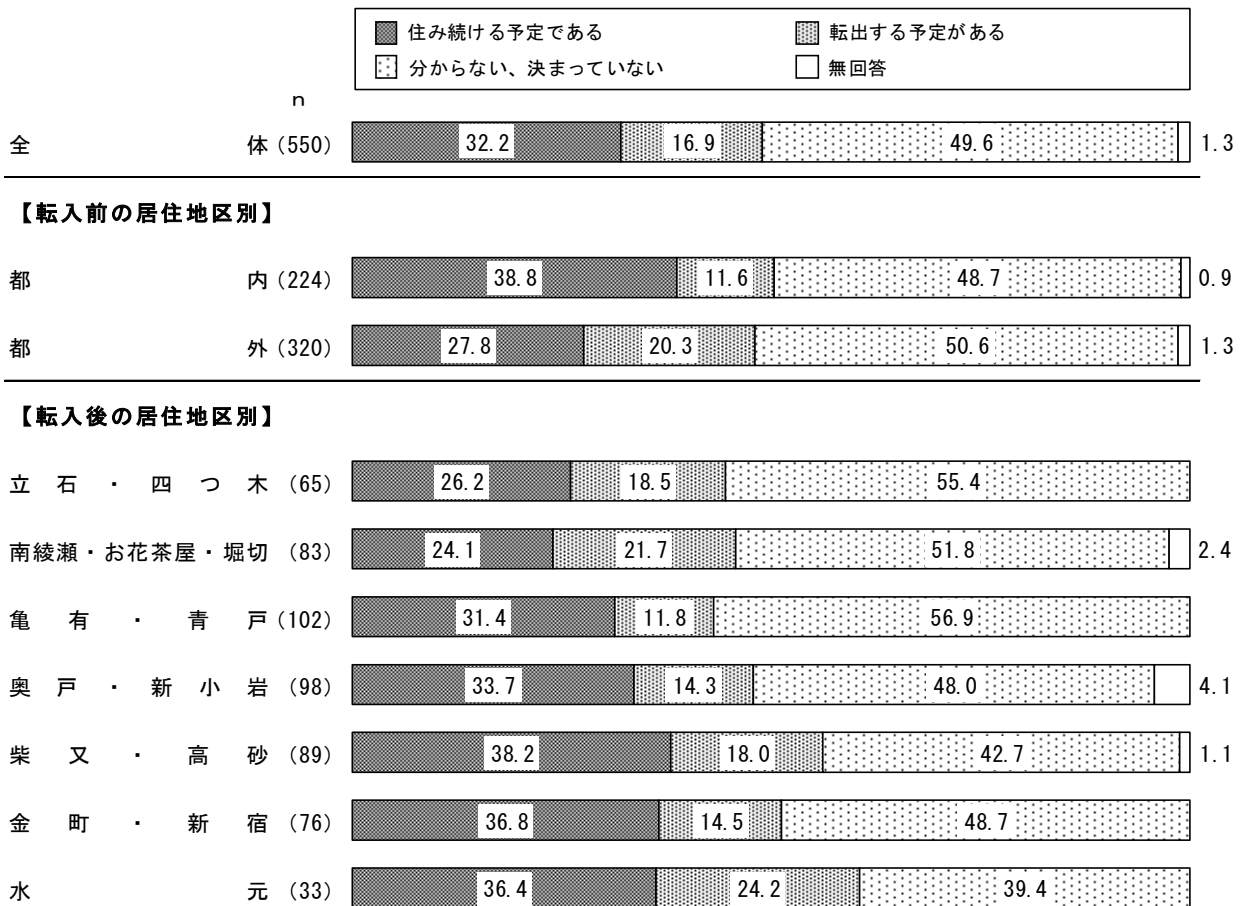


【転入前後の居住地区による分析】

転入前の居住地区別にみると、「住み続ける予定である」は都内（38.8%）が都外（27.8%）より11.0ポイント高いです。

転入後の居住地区別にみると、「住み続ける予定である」では柴又・高砂（38.2%）が最も多く、金町・新宿（36.8%）、水元（36.4%）が続きます。「分からない、決まっていない」は亀有・青戸（56.9%）で最も多く、立石・四つ木（55.4%）、南綾瀬・お花茶屋・堀切（51.8%）と続きます。

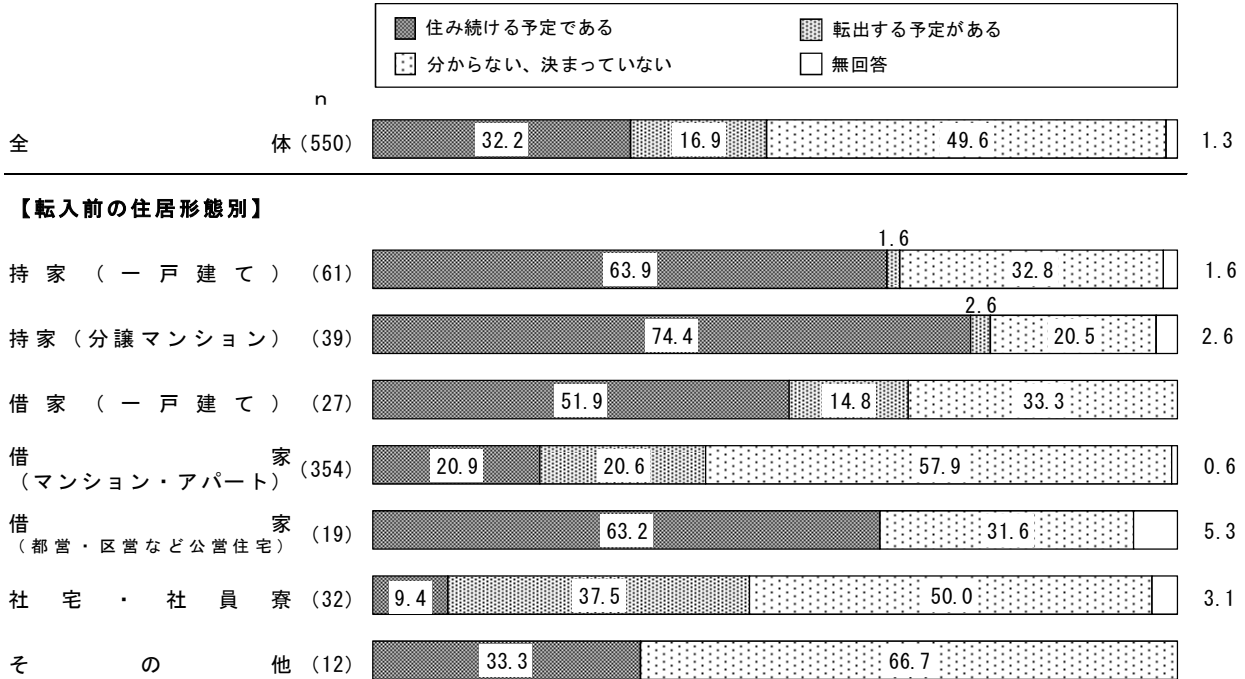
〈葛飾区での定住意向—転入前後の居住地区別〉



【住居形態による分析】

居住形態別にみると、「住み続ける予定である」は持家（分譲マンション）（74.4%）が特に多く、持家（一戸建て）（63.9%）、借家（都営・区営など公営住宅）（63.2%）が続きます。

〈葛飾区での定住意向—住居形態別〉

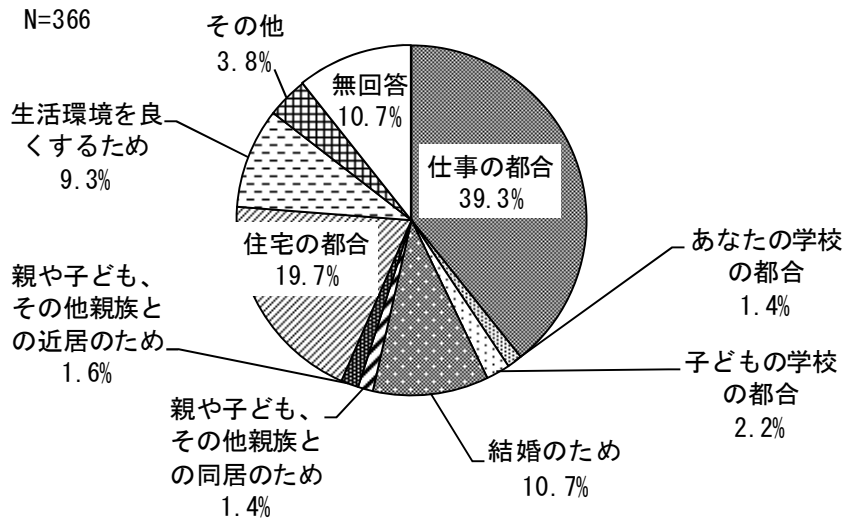


(5) 葛飾区からの転出理由（想定）

《問3で「転出する予定がある」または「分からない、決まっていない」と回答した366名の方》

問3-1 あなたが将来、転出するとしたら、考えられる理由は何ですか。（○は1つだけ）

〈単一回答〉



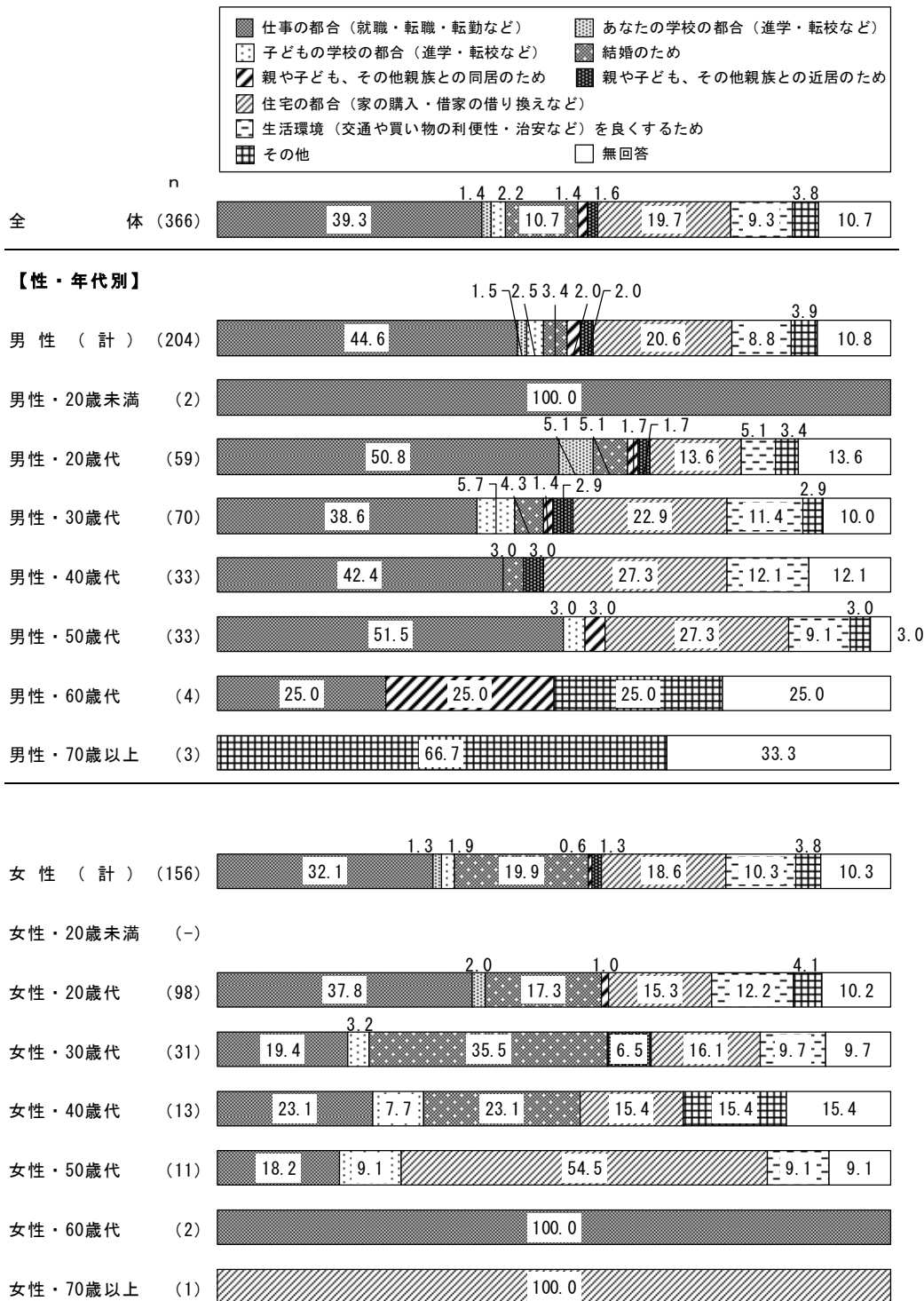
「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」が39.3%で最も多く、次いで「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が19.7%、「結婚のため」が10.7%で続きます。

【性別・年代別による分析】

性別でみると、「結婚のため」で女性（19.9%）が男性（3.4%）より16.5ポイント高いです。一方、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」では、男性（44.6%）が女性（32.1%）より12.5ポイント高いです。

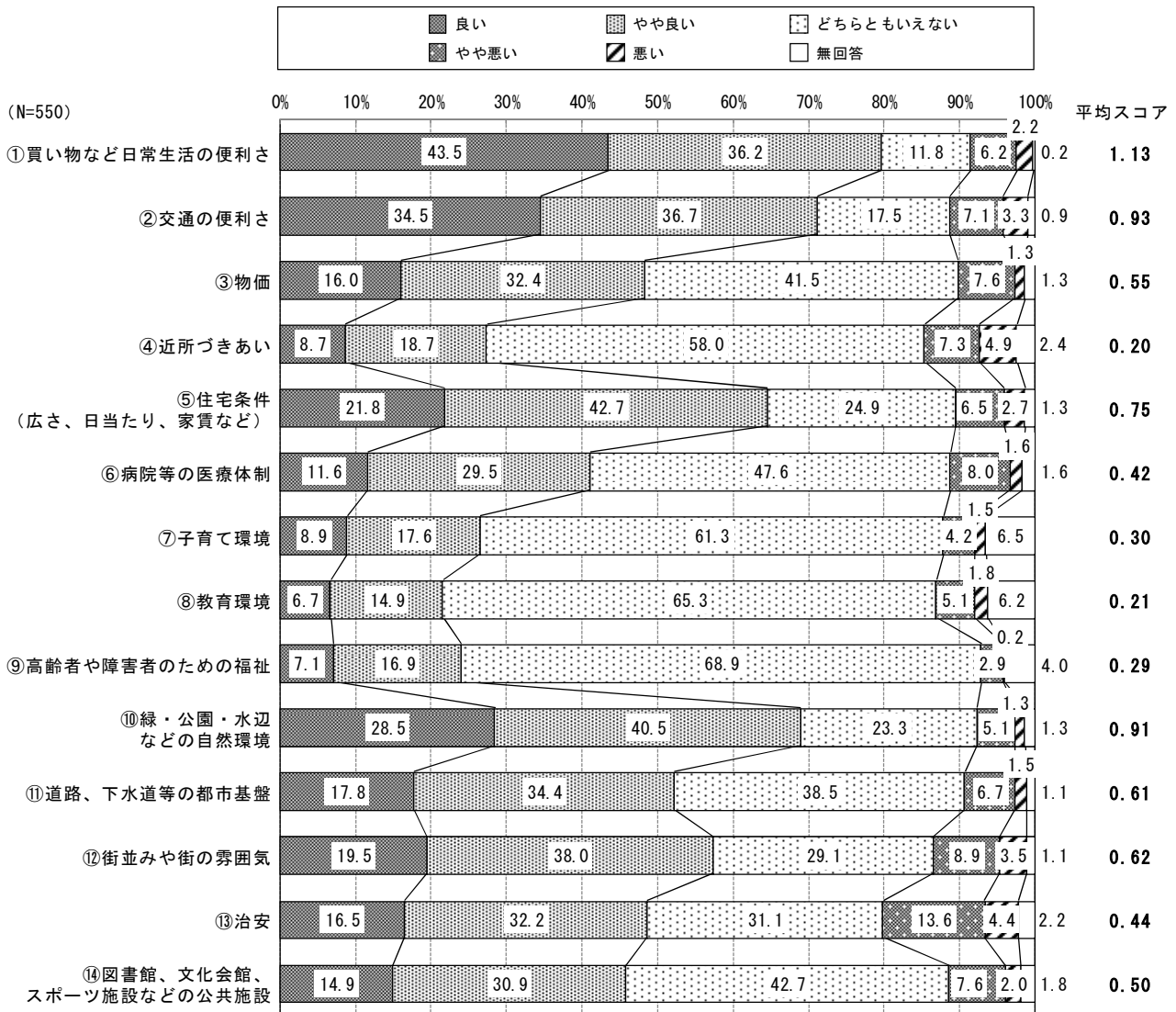
性・年代別にみると、男性は50歳代まで年齢が上がるごとに「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が増加します。女性は30歳代では「結婚のため」が多いです。

〈転出する理由として考えられること—性別・年代別〉



(6) 葛飾区に対する評価

問4 葛飾区にお住まいになって、以下の各項目それぞれに対して、どのように思いますか。
(○は各項目で1つだけ)



各項目について加重平均（重み付け）により満足度の平均スコア（※）を算出したところ（グラフ右の数値）、すべての項目でプラスになっています。平均スコアでは「買い物など日常生活の便利さ」が1.13で最も高く、次いで「交通の便利さ」が0.93、「緑・公園・水辺などの自然環境」が0.91で続きます。最もスコアが低いのは「近所づきあい」（0.20）です。

※加重平均による平均スコアの算出方法は、{(良いを選んだ人数) × 2点 + (やや良い) × 1点 - (やや悪い) × 1点 - (悪い) × 2点} ÷ (総数 - 無回答の人数)です。

【転入後の居住地区による分析】

転入後の居住地区別にみると、「買い物など日常生活の便利さ」が多くの地区で高く、「交通の便利さ」では亀有・青戸と奥戸・新小岩が、「緑・公園・水辺などの自然環境」では金町・新宿と水元が特に高いスコアとなっています。「治安」は奥戸・新小岩で特に低くなっています。

〈葛飾区に対する項目別5段階評価の平均スコア—現住所別〉

	立石 四つ木	南綾瀬 お花茶屋 堀切	亀有 青戸	奥戸 新小岩	柴又 高砂	金町 新宿	水元
買い物など日常生活の便利さ	1.05	0.94	1.48	1.17	0.94	1.17	0.91
交通の便利さ	0.81	0.95	1.14	1.23	0.71	0.88	0.23
物価	0.80	0.49	0.62	0.53	0.35	0.46	0.78
近所づきあい	0.16	0.16	0.03	0.26	0.25	0.12	0.63
住宅条件（広さ、日当たり、家賃など）	0.88	0.78	0.80	0.50	0.75	0.86	0.94
病院等の医療体制	0.39	0.20	0.49	0.54	0.43	0.41	0.45
子育て環境	0.42	0.17	0.20	0.24	0.32	0.43	0.66
教育環境	0.35	0.14	0.15	0.14	0.23	0.29	0.28
高齢者や障害者のための福祉	0.34	0.17	0.24	0.23	0.30	0.41	0.53
緑・公園・水辺などの自然環境	0.67	0.92	0.90	0.72	0.66	1.42	1.53
道路、下水道等の都市基盤	0.66	0.60	0.60	0.55	0.45	0.74	0.88
街並みや街の雰囲気	0.86	0.45	0.63	0.33	0.74	0.71	0.88
治安	0.73	0.39	0.30	0.04	0.75	0.49	0.50
図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設	0.64	0.33	0.44	0.24	0.36	0.95	0.97

※各地域において上位3項目が網かけの太字

(7) 自由意見

問5 葛飾区に住んでいて感じたことをお書きください。(以前住んでいた所との違い、葛飾区に望むことなど)〈自由意見〉

■分類・回答数

分類名	回答数
満足している・住みやすい	30
買い物	41
交通	51
物価	7
住民・コミュニティ	13
住宅	5
医療	6
子育て	9
教育	3
福祉	2
公園	10
自然環境	8
住環境	40
道路・下水道	32
下町・町の雰囲気	17
治安	27
防災	6
図書館など公共施設	9
行政サービス	39
その他	9
総数	364

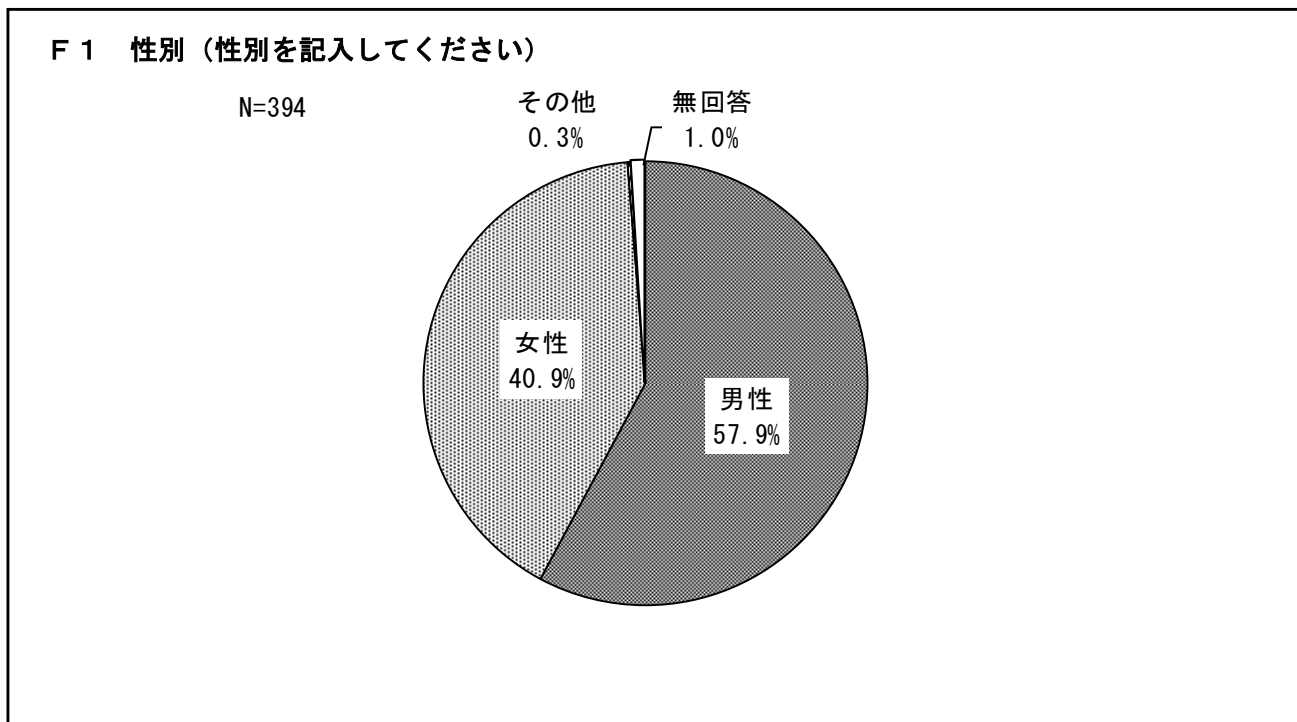
※詳細は「V 自由回答」を参照のこと。

Ⅲ. 転出者調査

1. 基本属性

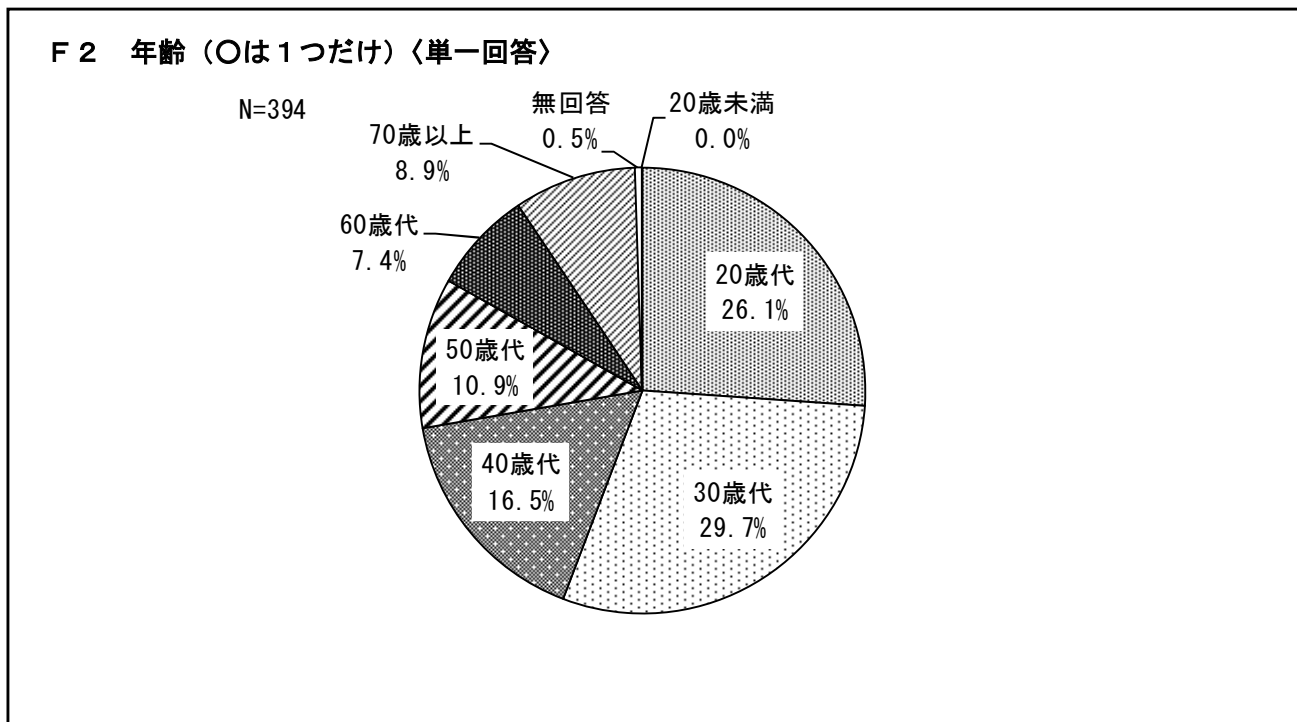
(1) 性別

「男性」が57.9%、「女性」が40.9%です。



(2) 年齢

「30歳代」が29.7%で最も多く、次いで「20歳代」が26.1%、「40歳代」が16.5%で続きます。

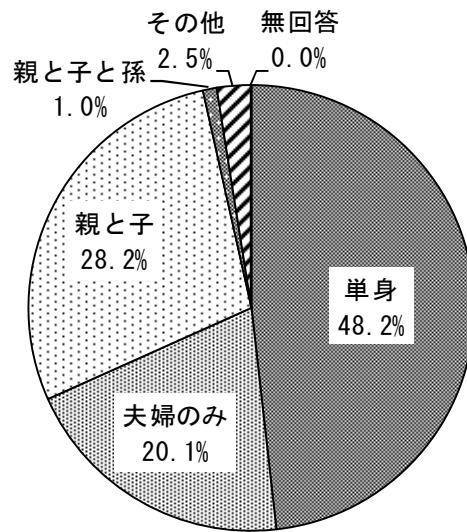


(3) 家族構成

「単身」が48.2%で最も多く、次いで「親と子」が28.2%、「夫婦のみ」が20.1%で続きます。

F 3 あなたの家族構成は、次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)〈単一回答〉

N=394

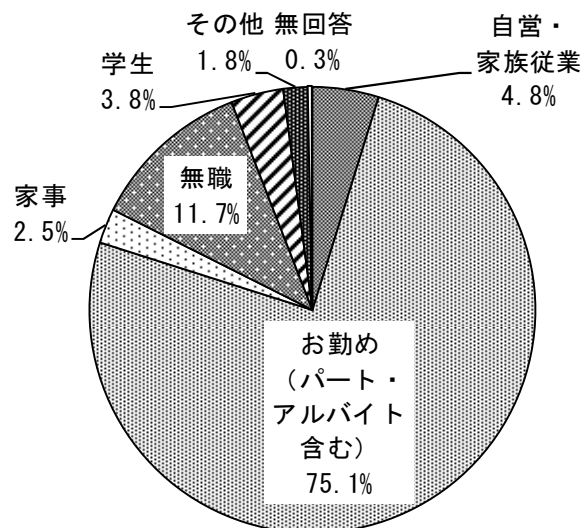


(4) 職業

「お勤め (パート・アルバイト含む)」が75.1%で最も多く、次いで「無職」が11.7%、「自営・家族従業」が4.8%で続きます。

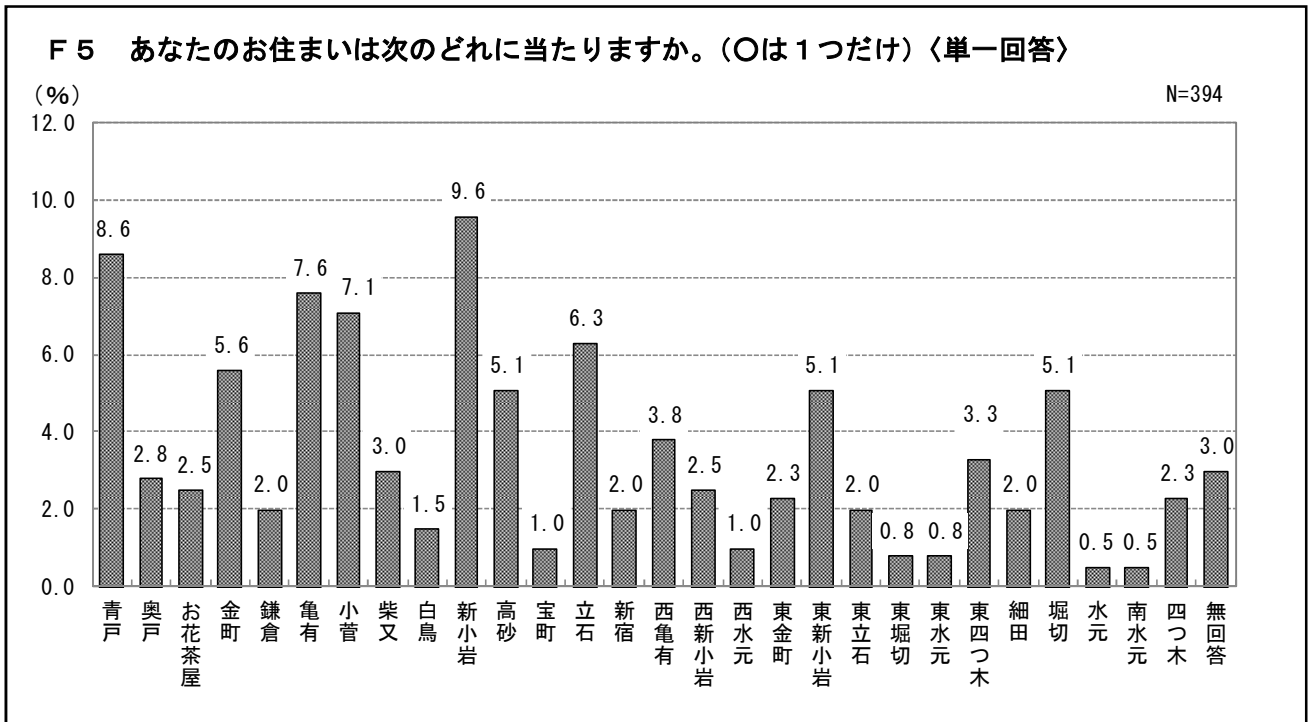
F 4 あなたの職業は次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)〈単一回答〉

N=394



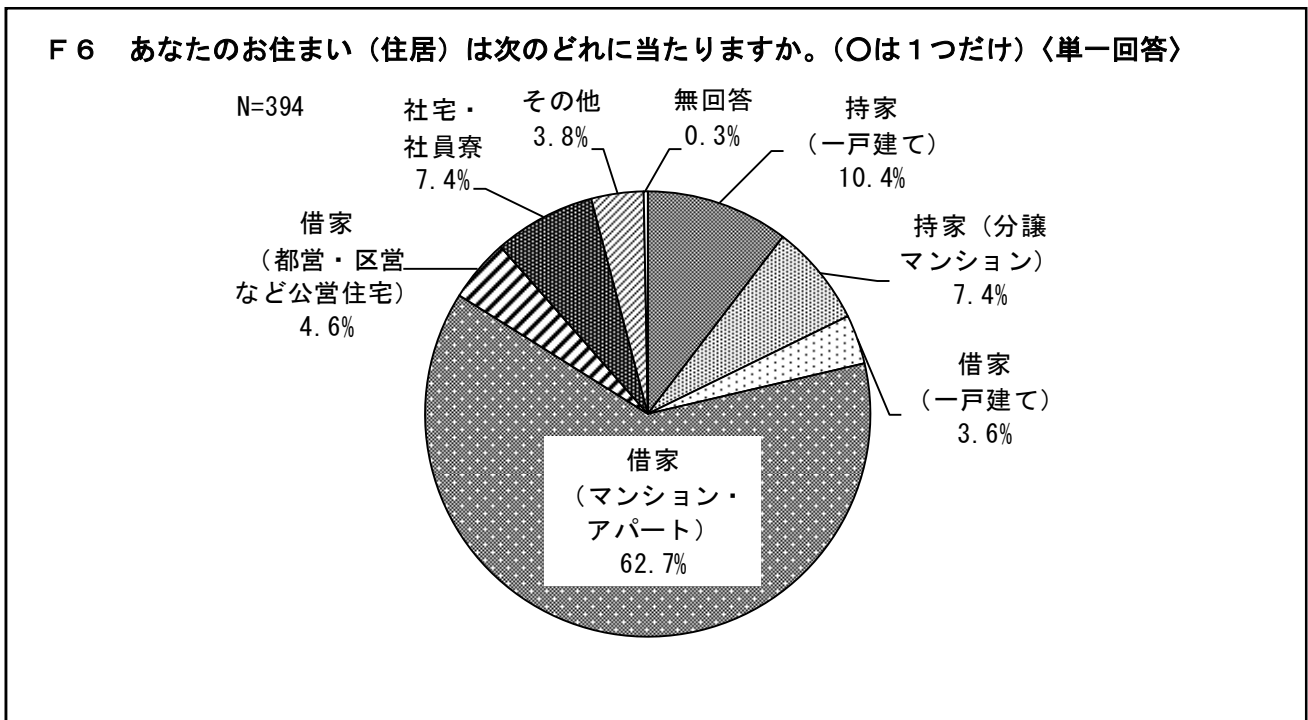
(5) 居住地区

「新小岩」が9.6%で最も多く、次いで「青戸」が8.6%、「亀有」が7.6%で続きます。



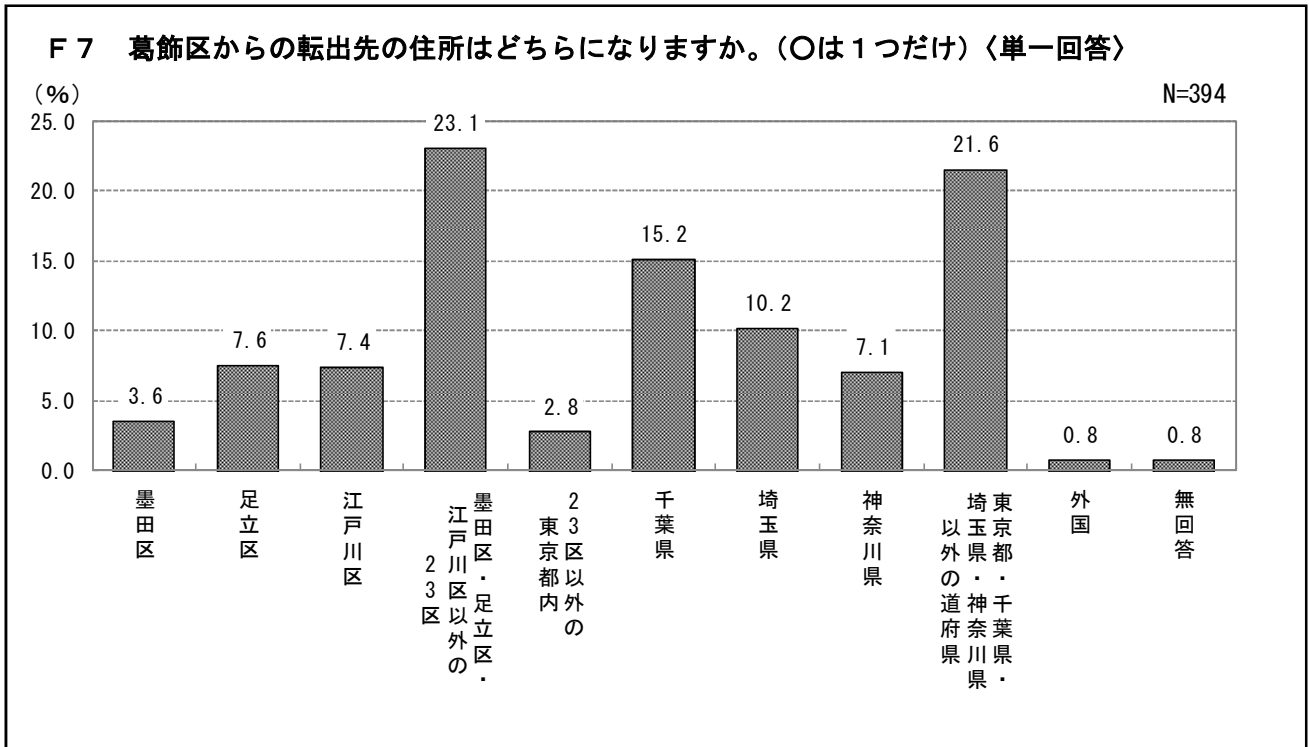
(6) 住居形態

「借家 (マンション・アパート)」が62.7%で最も多く、次いで「持家 (一戸建て)」が10.4%「持家 (分譲マンション)」と「社宅・社員寮」が7.4%で続きます。



(7) 転出先の居住地区

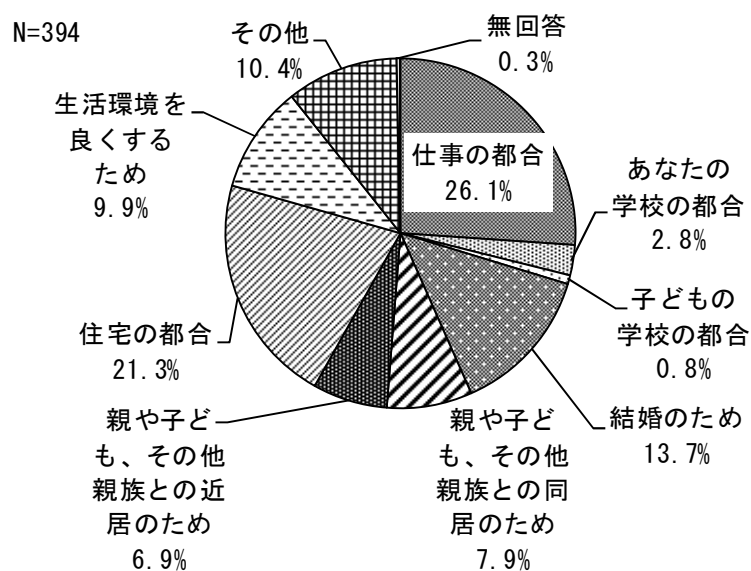
「墨田区・足立区・江戸川区以外の23区」が23.1%で最も多く、次いで「東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県以外の道府県」が21.6%、「千葉県」が15.2%で続きます。



2. 転出理由・葛飾区の住みやすさなどについて

(1) 葛飾区から転出した理由

問1 葛飾区から転出した理由は何ですか。(最も大きな要因1つに○)〈単一回答〉



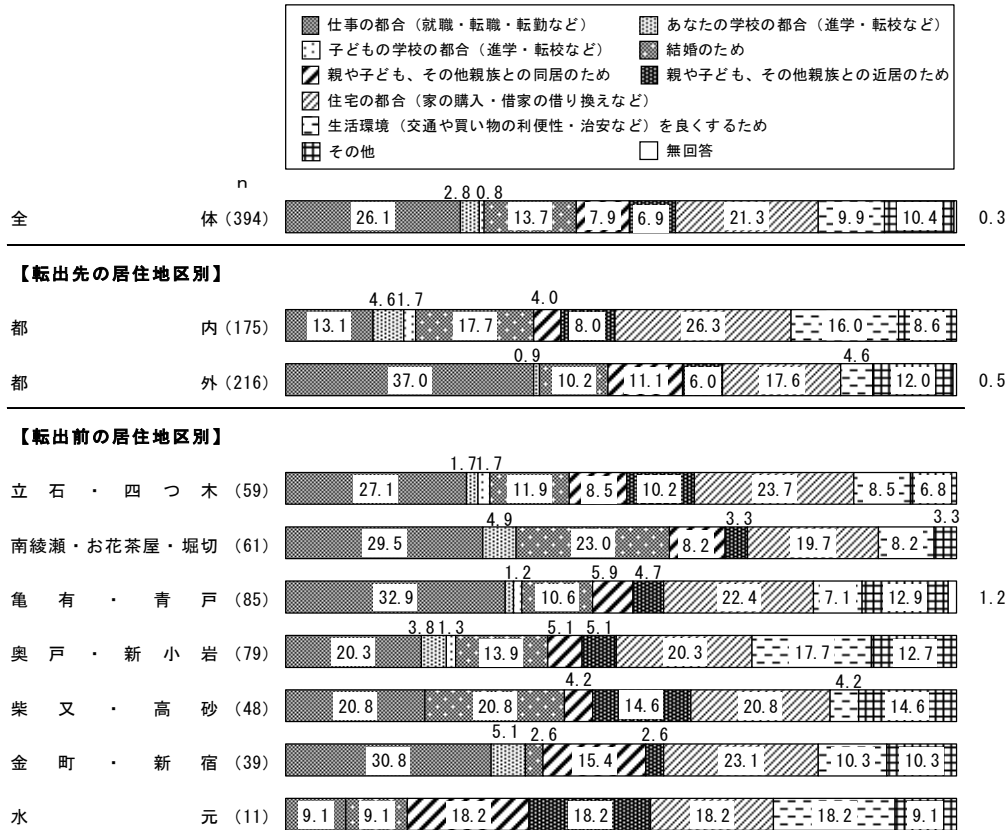
「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」が26.1%で最も多く、次いで「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が21.3%、「結婚のため」が13.7%で続きます。「親や子ども、その他親族との同居のため」「親や子ども、その他親族との近居のため」をあわせると14.8%になり、「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」に次いで多くなります。

【性別・年代別による分析】

性別で見ると、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」で男性（30.3%）が女性（19.3%）より11.0ポイント高いほか、「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」で男性（25.4%）が女性（15.5%）より9.9ポイント高いです。一方、「結婚のため」では女性（20.5%）が男性（8.8%）より11.7ポイント高く、「生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするため」では女性（11.8%）が男性（8.8%）より3.0ポイント高いです。

性・年代別にみると、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」は男性の30歳代から60歳代で3割を超えています。「結婚のため」は女性の40歳代以下に多く、特に30歳代では3割を超えています。

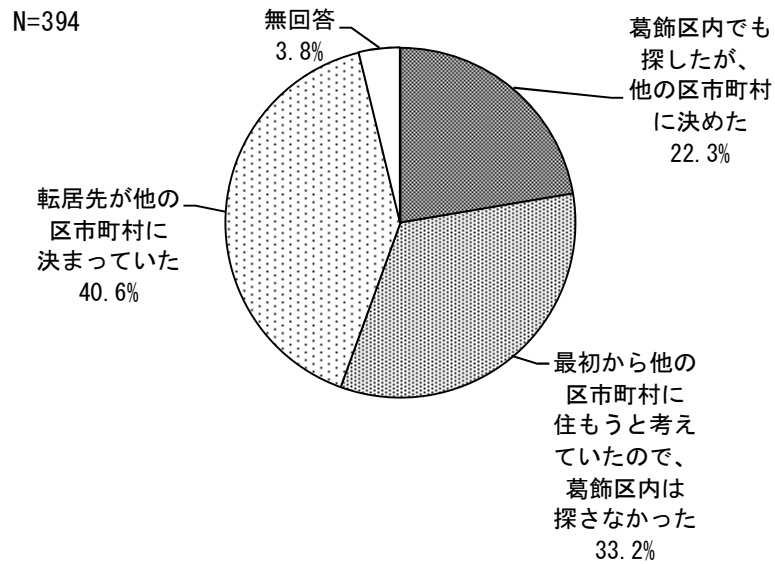
〈葛飾区から転出した理由—性別・年代別〉



(2) 転出時に葛飾区でも住まいを探したか

問2 転出するに当たって、葛飾区でもお住まいを探しましたか。

(○は1つだけ)〈単一回答〉



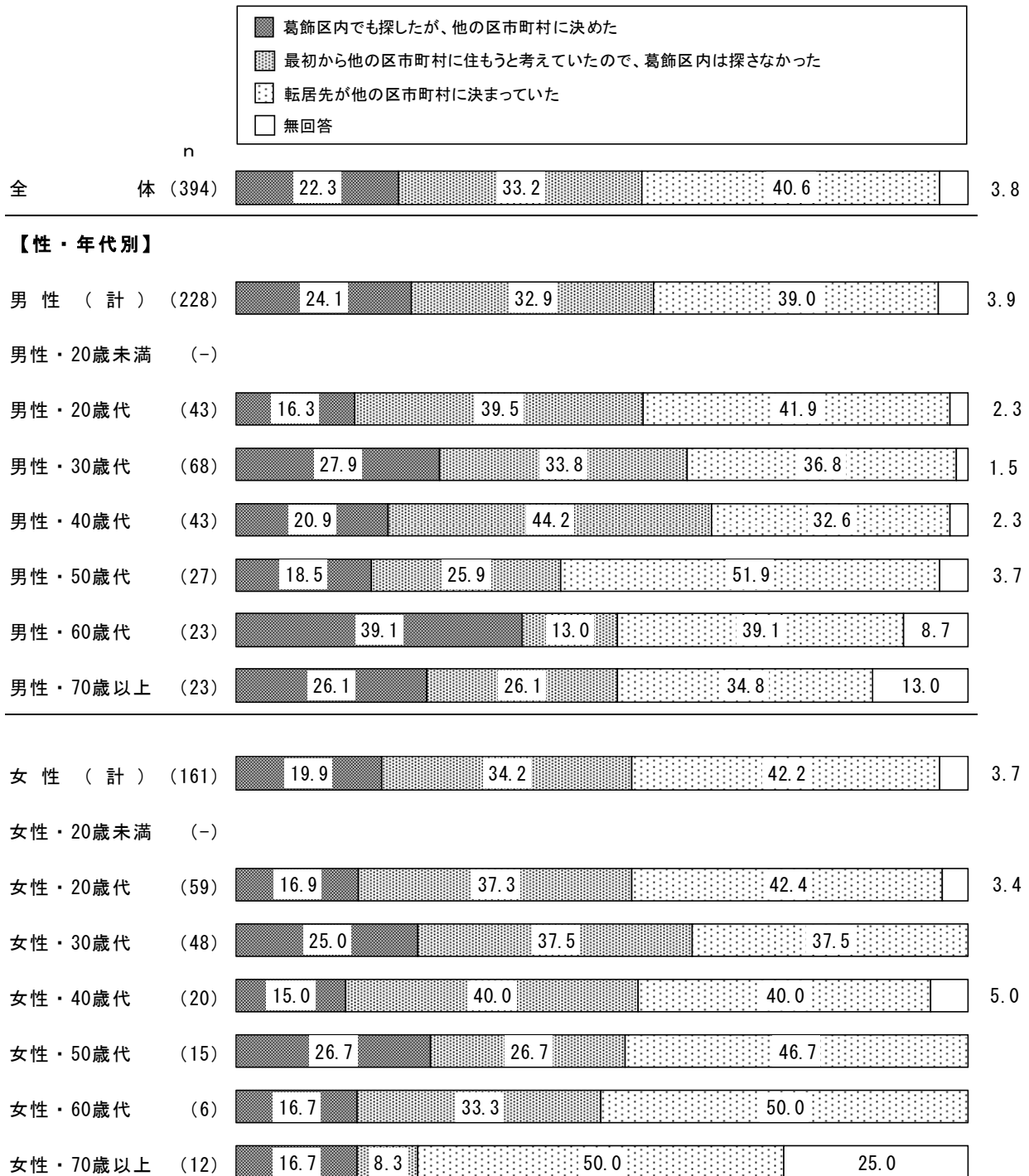
「転居先が他の区市町村に決まっていた（会社の寮や社宅が葛飾区外だった、同居をはじめる家族の住宅が葛飾区外にあった など）」が40.6%で最も多く、次いで「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」が33.2%、「葛飾区内でも探したが、他の区市町村に決めた」が22.3%で続きます。

【性別・年代別による分析】

性別で見ると、「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」で女性（34.2%）が男性（32.9%）より1.3ポイント高いです。

性・年代別にみると、「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」は男性・女性とも40歳代で特に多く、4割以上となっています。一方、「転居先が他の区市町村に決まっていた」は男性の50歳代で特に多く、5割を超えています。

〈転出時に葛飾区でも住まいを探したか—性別・年代別〉

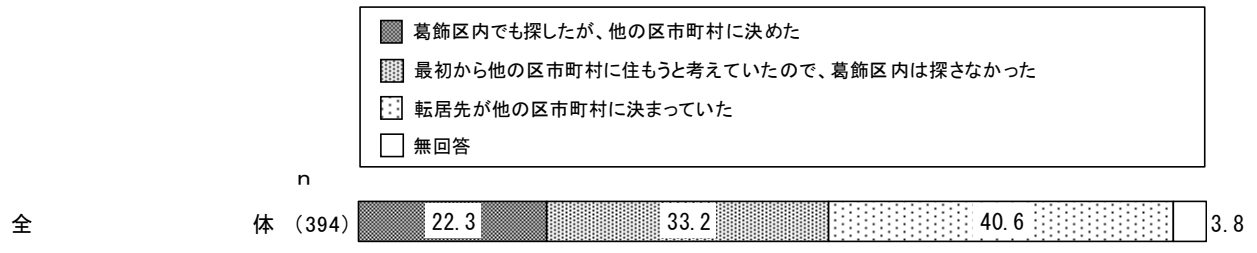


【転出前後の居住区による分析】

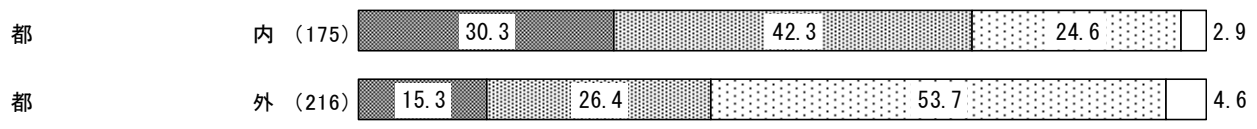
転出先の居住区別にみると、「葛飾区内でも探したが、他の区市町村に決めた」「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」で都内の方がそれぞれ15.0ポイント、15.9ポイント高いです。一方、都外では「転居先が他の区市町村に決まっていた」が特に多く、5割を超えています。

転出前の居住地区別にみると、亀有・青戸で「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」が比較的多く、4割となっています。また、南綾瀬・お花茶屋・堀切、金町・新宿では「葛飾区内でも探したが、他の区市町村に決めた」が少ないです。

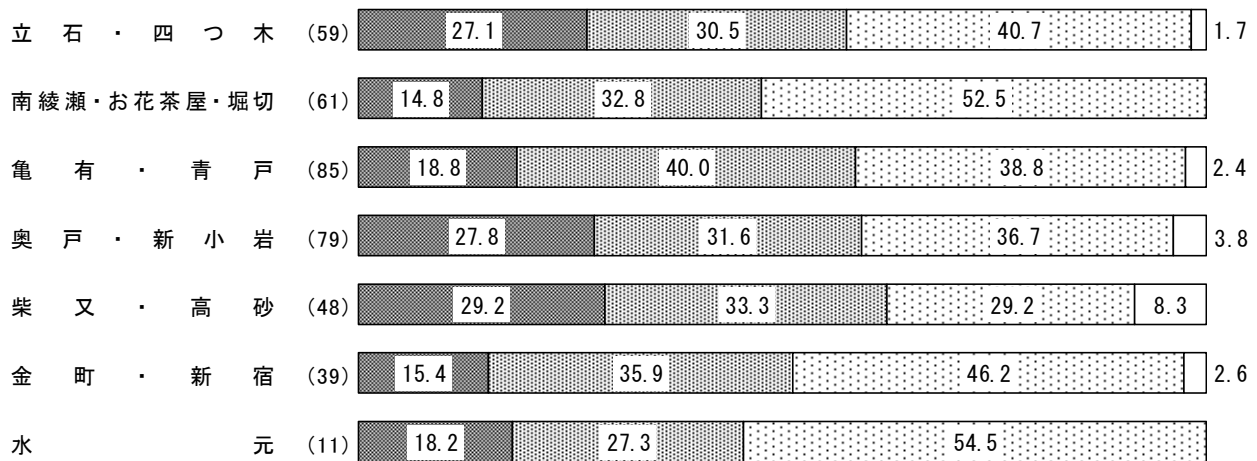
〈転出時に葛飾区でも住まいを探したか—転出前後の居住地区別〉



【転出先の居住地区別】



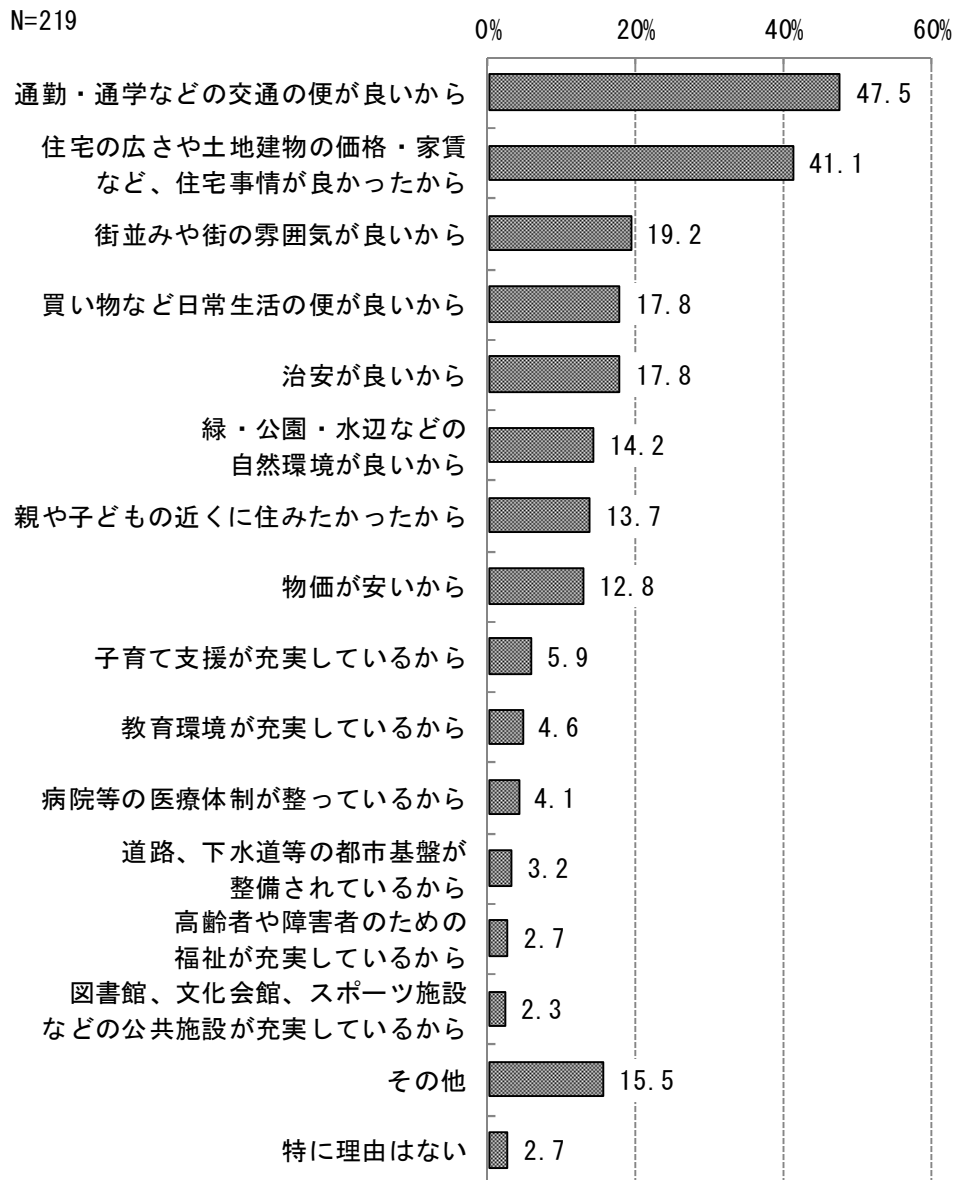
【転出前の居住地区別】



(3) 転出先の自治体を選んだ理由

《問2で「葛飾区内でも探したが、他の区市町村に決めた」または「最初から他の区市町村に住もうと考えていたので、葛飾区内は探さなかった」を選択した219名の方》

問2-1 転出先に他の区市町村を選んだ理由は何ですか。(〇はあてはまるもの全て)
 〈複数回答〉



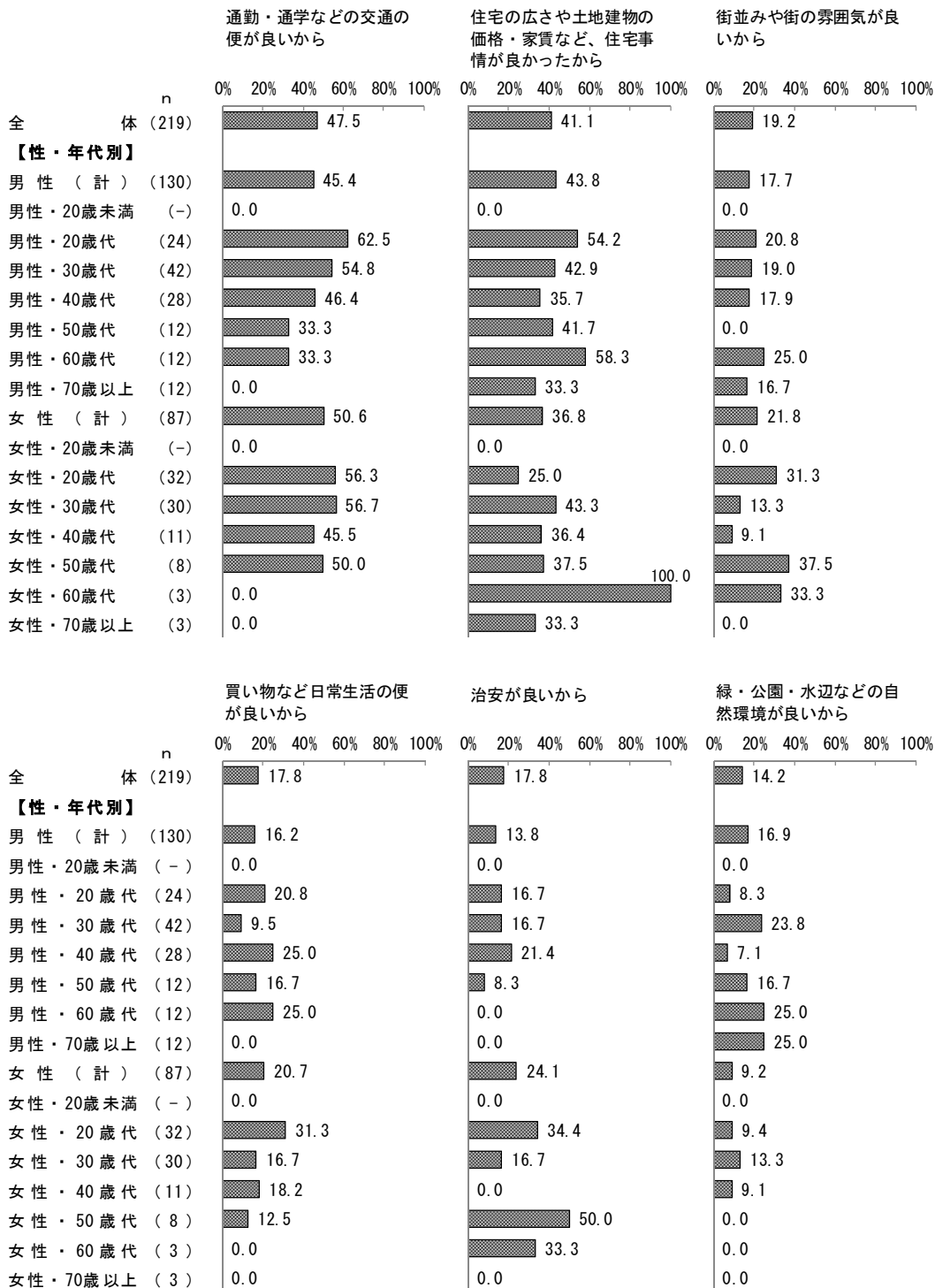
「通勤・通学などの交通の便が良いから」が47.5%で最も多く、次いで「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」が41.1%、「街並みや街の雰囲気が良いから」が19.2%で続きます。

【性別・年代別による分析】

上位6項目を性別でみると、「緑・公園・水辺などの自然環境が良いから」は男性（16.9%）が女性（9.2%）より7.7ポイント高く、「治安が良いから」は女性（24.1%）が男性（13.8%）より10.3ポイント高いです。

性・年代別でみると、男性・女性ともに20歳代・30歳代で「通勤・通学などの交通の便が良いから」が多く、また、「治安が良いから」は30歳代・40歳代以外で男性より女性の方が多くなっています。

〈転出先の自治体を選んだ理由—性別・年代別（上位6項目）〉

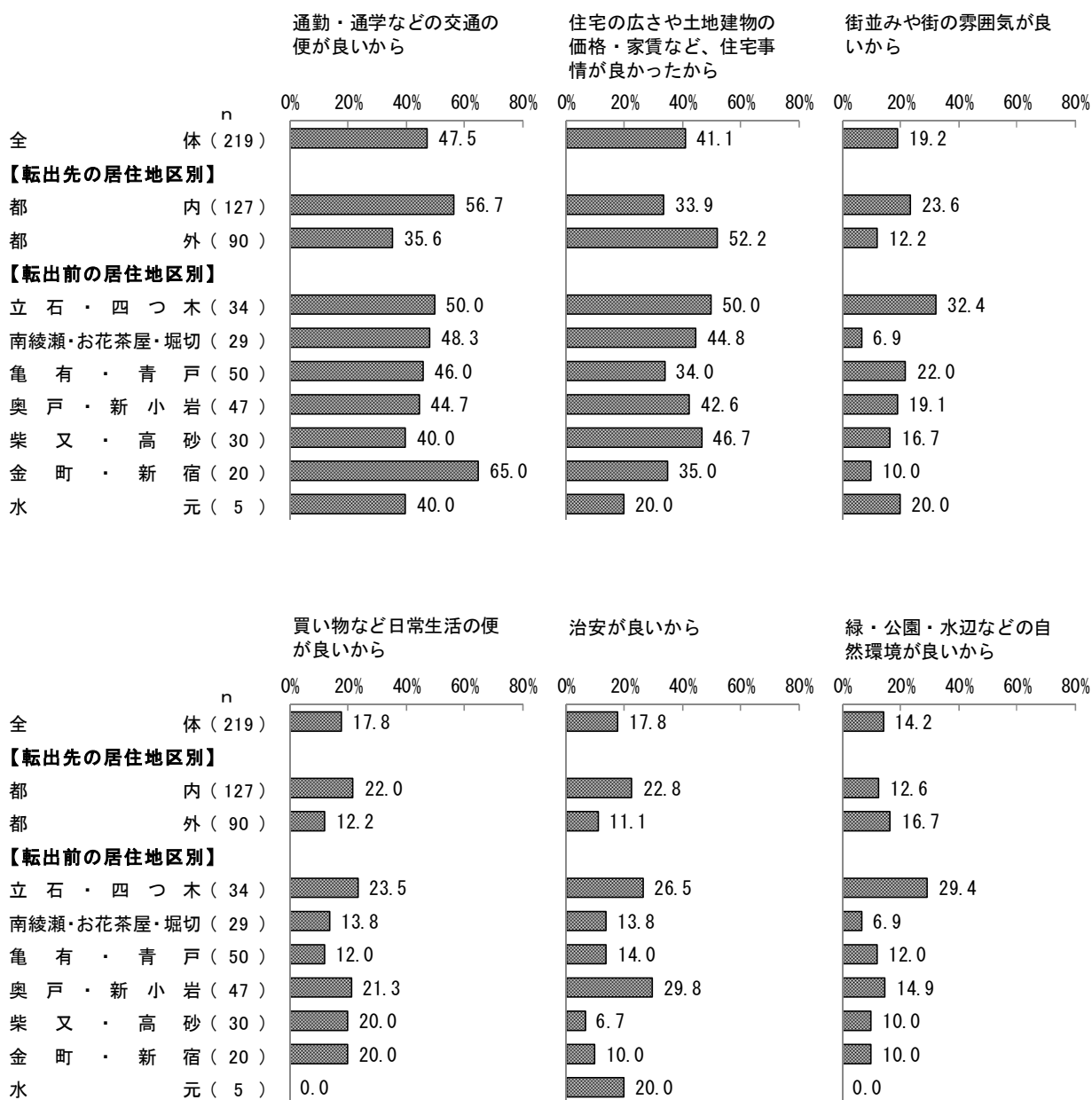


【転出前後の居住地区による分析】

転出先の居住地区別にみると、「通勤・通学などの交通の便が良いから」「街並みや街の雰囲気が良いから」「買い物など日常生活の便が良いから」「治安が良いから」で都内の方が高いです（それぞれ21.1ポイント、11.4ポイント、9.8ポイント、11.7ポイント）。その他は都外の方が高く、特に「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」では都外の方が都内より18.3ポイント高いです。

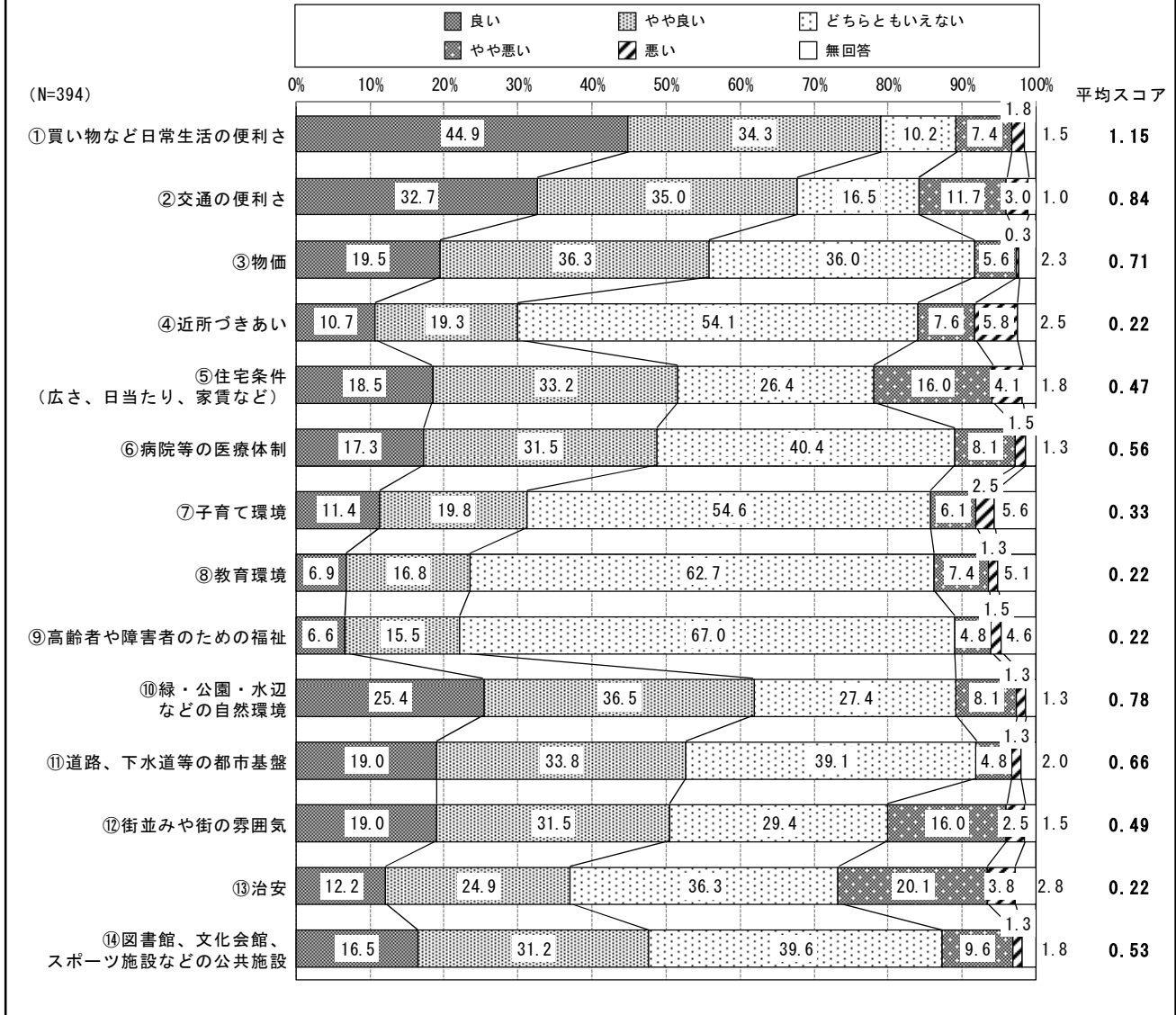
転出前の居住地区別にみると、「通勤・通学などの交通の便が良いから」では、立石・四つ木、金町・新宿で比較的高く、5割以上となっています。そのほか、「街並みや街の雰囲気が良いから」「緑・公園・水辺などの自然環境が良いから」では立石・四つ木が特に高いです。

〈転出先の自治体を選んだ理由—転出前後の居住地区別（上位6項目）〉



(4) 葛飾区に対する評価

問3 葛飾区にお住まいになっていた時、以下の各項目それぞれに対して、どのように思っていましたか。(〇は各項目で1つだけ)



各項目について加重平均（重み付け）により満足度の平均スコアを算出したところ（グラフ右の数値）、すべての項目でプラスになっています。平均スコアでは「買い物など日常生活の便利さ」が1.15で最も高く、次いで「交通の便利さ」が0.84、「緑・公園・水辺などの自然環境」が0.78で続きます。最もスコアが低いのは「近所づきあい」「教育環境」「高齢者や障害者のための福祉」「治安」（全て0.22）の4項目です。

【転出前の居住地区による分析】

転出前の居住地区別にみると、「買い物など日常生活の便利さ」が総じて高く、「交通の便利さ」では亀有・青戸と奥戸・新小岩が、「緑・公園・水辺などの自然環境」では金町・新宿と水元が特に高いスコアになっています。奥戸・新小岩と水元は「治安」が特に低く、マイナスになっています。

〈葛飾区に対する項目別5段階評価の平均スコア—現住所別〉

	立石 四つ木	南綾瀬 お花茶屋 堀切	亀有 青戸	奥戸 新小岩	柴又 高砂	金町 新宿	水元
買い物など日常生活の便利さ	0.91	1.16	1.44	1.15	0.94	1.24	0.73
交通の便利さ	0.69	0.66	1.05	0.97	0.79	0.69	0.45
物価	0.71	0.73	0.64	0.79	0.57	0.82	0.55
近所づきあい	0.18	0.30	0.21	0.17	0.15	0.31	0.36
住宅条件（広さ、日当たり、家賃など）	0.55	0.67	0.35	0.27	0.44	0.74	0.09
病院等の医療体制	0.47	0.48	0.65	0.50	0.57	0.67	0.36
子育て環境	0.45	0.24	0.46	0.04	0.38	0.38	0.64
教育環境	0.23	0.12	0.32	0.05	0.18	0.32	0.27
高齢者や障害者のための福祉	0.18	0.19	0.20	0.12	0.34	0.35	0.55
緑・公園・水辺などの自然環境	0.59	0.79	0.88	0.45	0.79	1.36	1.27
道路、下水道等の都市基盤	0.47	0.69	0.75	0.45	0.83	0.95	0.36
街並みや街の雰囲気	0.40	0.43	0.61	0.14	0.72	0.92	0.36
治安	0.26	0.19	0.19	-0.19	0.79	0.39	-0.18
図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設	0.55	0.32	0.52	0.42	0.63	0.97	0.73

※各地域において上位3項目が網かけの太字

(5) 自由意見

問4 葛飾区に住んでいて感じたことをお書きください。(現在住んでいる所との違い、葛飾区に望むことなど)〈自由意見〉

■分類・回答数

分類名	回答数
満足している・住みやすい	31
買い物	24
交通	39
物価	5
住民・コミュニティ	14
住宅	4
医療	7
子育て	14
教育	2
福祉	3
公園	7
自然環境	7
住環境	33
道路・下水道	13
下町・町の雰囲気	11
治安	21
防災	4
図書館など公共施設	7
行政サービス	18
その他	7
総数	271

※詳細は「V 自由回答」を参照のこと。

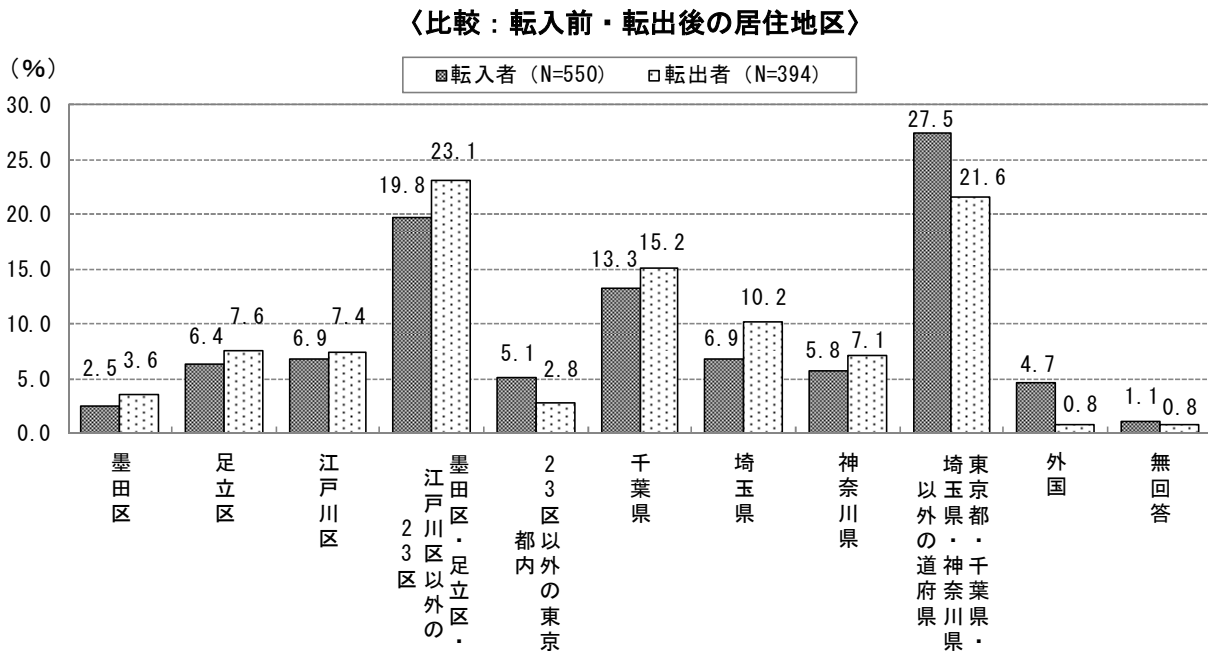
IV. 調查結果比較

1. 転入者調査と転出者調査の比較

(1) 転入前・転出後の居住地区

転入前の住所では、隣接する「墨田区」「足立区」「江戸川区」の合計より「墨田区・足立区・江戸川区以外の23区」の方が4.0ポイント上回り、転出後の住所では、「墨田区」「足立区」「江戸川区」の合計より「墨田区・足立区・江戸川区以外の23区」の方が4.5ポイント上回ります。

千葉県、埼玉県、神奈川県に関しては、転入・転出のいずれでも千葉県が最も多いです。



(2) 転入・転出の理由

転入・転出を問わず、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が上位2項目です。また、転入では「生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）」を良くするため、転出では「結婚のため」が、それぞれ3位となっています。

性別にみると、男性では、「仕事の都合」で転出（30.3%）より転入（41.3%）の方が11.0ポイント高く、「住宅の都合」で転入（19.7%）より転出（25.4%）の方が5.7ポイント高いです。女性では、「仕事の都合」で転出（19.3%）より転入（48.9%）の方が29.6ポイント高く、「結婚のため」で転入（4.8%）より転出（20.5%）の方が15.7ポイント高いです。

〈比較：転入前・転出後の理由〉

	転入			転出		
	全体 (N=550)	男性 (N=305)	女性 (N=231)	全体 (N=394)	男性 (N=228)	女性 (N=161)
仕事の都合	44.7	41.3	48.9	26.1	30.3	19.3
あなたの学校の都合	4.7	4.9	4.8	2.8	2.2	3.7
子どもの学校の都合	1.1	1.3	0.9	0.8	0.4	1.2
結婚のため	8.2	11.1	4.8	13.7	8.8	20.5
親や子ども、その他親族との同居のため	4.7	6.2	3.0	7.9	7.0	9.3
親や子ども、その他親族との近居のため	4.0	3.6	4.3	6.9	6.6	7.5
住宅の都合	16.9	19.7	13.9	21.3	25.4	15.5
生活環境を良くするため	8.4	7.2	10.4	9.9	8.8	11.8
その他	4.7	3.0	7.4	10.4	10.5	10.6
無回答	2.5	1.6	1.7	0.3	-	0.6

(3) 転入先に葛飾区を選んだ理由・転出先の自治体を選んだ理由

転入・転出を問わず、「通勤・通学などの交通の便が良いから」「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」が上位2項目です。また、転入では「買い物など日常生活の便が良いから」、転出では「街並みや街の雰囲気が良いから」が、それぞれ3位となっています。

転入では7位である「街並みや街の雰囲気が良いから」が転出では3位に、転入では8位である「治安が良いから」は転出では5位となっています。

〈比較：転居先を選んだ理由（上位10項目）〉

(%)

順位	転入		転出	
	項目	割合	項目	割合
1位	通勤・通学などの交通の便が良いから	62.3	通勤・通学などの交通の便が良いから	47.5
2位	住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから	52.3	住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから	41.1
3位	買い物など日常生活の便が良いから	29.7	街並みや街の雰囲気が良いから	19.2
4位	物価が安いから	19.0	買い物など日常生活の便が良いから	17.8
5位	緑・公園・水辺などの自然環境が良いから	13.6	治安が良いから	17.8
6位	親や子どもの近くに住みたかったから	12.9	緑・公園・水辺などの自然環境が良いから	14.2
7位	街並みや街の雰囲気が良いから	12.7	親や子どもの近くに住みたかったから	13.7
8位	治安が良いから	6.3	物価が安いから	12.8
9位	図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設が充実しているから	4.4	子育て支援が充実しているから	5.9
10位	病院等の医療体制が整っているから	2.7	教育環境が充実しているから	4.6

(4) 葛飾区に対する評価

転入・転出を問わず、「買い物など日常生活の便利さ」「交通の便利さ」「緑・公園・水辺などの自然環境」が上位3項目になっています。

転入者と転出者のあいだで評価に0.2ポイント以上の差がある項目は、「住宅条件（広さ、日当たり、家賃など）」「治安」で、どちらの項目でも転入者の方が高く評価しています。

〈比較：満足度の平均スコア〉

		全体	立石 四つ木	南綾瀬 お花茶屋 堀切	亀有 青戸	奥戸 新小岩	柴又 高砂	金町 新宿	水元
買い物など日常生活の便利さ	転入	1.13	1.05	0.94	1.48	1.17	0.94	1.17	0.91
	転出	1.15	0.91	1.16	1.44	1.15	0.94	1.24	0.73
交通の便利さ	転入	0.93	0.81	0.95	1.14	1.23	0.71	0.88	0.23
	転出	0.84	0.69	0.66	1.05	0.97	0.79	0.69	0.45
物価	転入	0.55	0.80	0.49	0.62	0.53	0.35	0.46	0.78
	転出	0.71	0.71	0.73	0.64	0.79	0.57	0.82	0.55
近所づきあい	転入	0.20	0.16	0.16	0.03	0.26	0.25	0.12	0.63
	転出	0.22	0.18	0.30	0.21	0.17	0.15	0.31	0.36
住宅条件（広さ、日当たり、家賃など）	転入	0.75	0.88	0.78	0.80	0.50	0.75	0.86	0.94
	転出	0.47	0.55	0.67	0.35	0.27	0.44	0.74	0.09
病院等の医療体制	転入	0.42	0.39	0.20	0.49	0.54	0.43	0.41	0.45
	転出	0.56	0.47	0.48	0.65	0.50	0.57	0.67	0.36
子育て環境	転入	0.30	0.42	0.17	0.20	0.24	0.32	0.43	0.66
	転出	0.33	0.45	0.24	0.46	0.04	0.38	0.38	0.64
教育環境	転入	0.21	0.35	0.14	0.15	0.14	0.23	0.29	0.28
	転出	0.22	0.23	0.12	0.32	0.05	0.18	0.32	0.27
高齢者や障害者のための福祉	転入	0.29	0.34	0.17	0.24	0.23	0.30	0.41	0.53
	転出	0.22	0.18	0.19	0.20	0.12	0.34	0.35	0.55
緑・公園・水辺などの自然環境	転入	0.91	0.67	0.92	0.90	0.72	0.66	1.42	1.53
	転出	0.78	0.59	0.79	0.88	0.45	0.79	1.36	1.27
道路、下水道等の都市基盤	転入	0.61	0.66	0.60	0.60	0.55	0.45	0.74	0.88
	転出	0.66	0.47	0.69	0.75	0.45	0.83	0.95	0.36
街並みや街の雰囲気	転入	0.62	0.86	0.45	0.63	0.33	0.74	0.71	0.88
	転出	0.49	0.40	0.43	0.61	0.14	0.72	0.92	0.36
治安	転入	0.44	0.73	0.39	0.30	0.04	0.75	0.49	0.50
	転出	0.22	0.26	0.19	0.19	-0.19	0.79	0.39	-0.18
図書館、文化会館、スポーツ施設などの公共施設	転入	0.50	0.64	0.33	0.44	0.24	0.36	0.95	0.97
	転出	0.53	0.55	0.32	0.52	0.42	0.63	0.97	0.73

2. 平成30年度転入者調査と令和2年度転入者調査との比較

(1) 平成30年度「葛飾区後期実施計画策定に係る転入者アンケート調査」概要

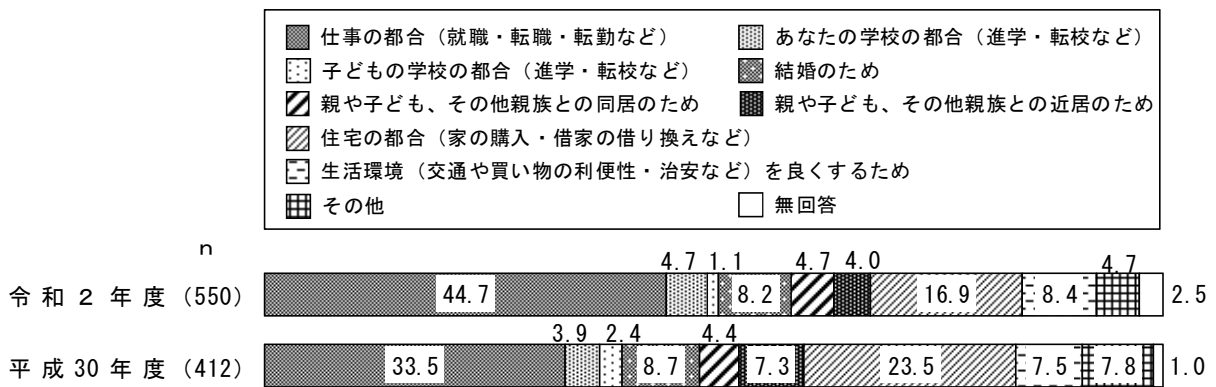
- ・調査対象 平成28年9月1日～平成29年8月31日に葛飾区に転入した世帯の世帯主1,500人
- ・回収数 412件（回収率27.5%）
- ・抽出方法 調査対象者の中から無作為抽出
- ・調査方法 郵送によるアンケート調査（郵送配布・郵送回収）
- ・調査時期 平成30年5月21日～平成30年6月1日
平成30年6月4日～平成30年6月8日

(2) 葛飾区に転入した理由

平成30年度調査では「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」が33.5%で最も多く、次いで「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が23.5%、「結婚のため」が8.7%で続きます。

今回の調査でも上位2項目は変わらず、「仕事の都合（就職・転職・転勤など）」が44.7%で最も多く、「住宅の都合（家の購入・借家の借り換えなど）」が16.9%、生活環境（交通や買い物の利便性・治安など）を良くするための8.4%で続きます。

〈比較：葛飾区に転入した理由〉

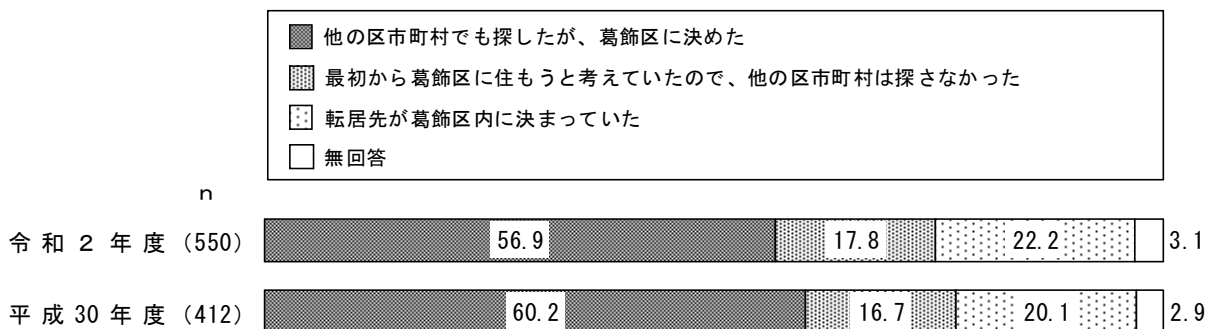


(3) 転入時に葛飾区以外の区市町村でも住まいを探したか

平成30年度調査では、「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」が60.2%で最も多く、次いで「転居先が葛飾区内に決まっていた」が20.1%で続きます。

今回の調査では「他の区市町村でも探したが、葛飾区に決めた」が56.9%となっており、平成30年度に比べて3.3ポイント低くなっています。「転居先が葛飾区内に決まっていた」は2割程度です。

〈比較：転入時に葛飾区以外の区市町村で住まいを探したか〉

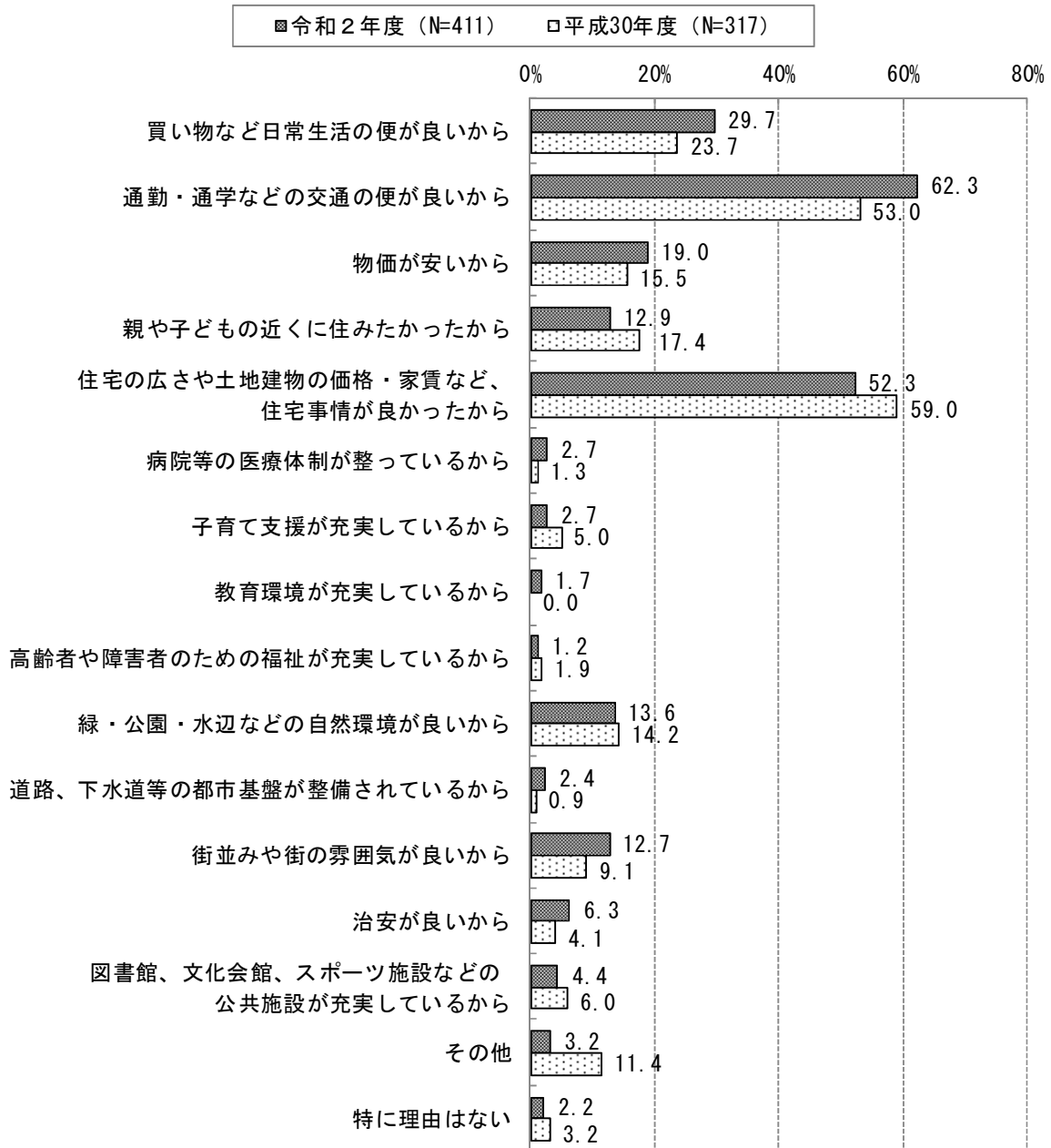


(4) 転入先に葛飾区を選んだ理由

平成30年度調査では、「住宅の広さや土地建物の価格・家賃など、住宅事情が良かったから」が59.0%で最も多く、次いで「通勤・通学などの交通の便が良いから」が53.0%、「買い物など日常生活の便が良いから」が23.7%で続きます。

今回の調査でも上位3項目は変わりませんが、「通勤・通学などの交通の便が良いから」が9.3ポイント増加して最も多くなっています。

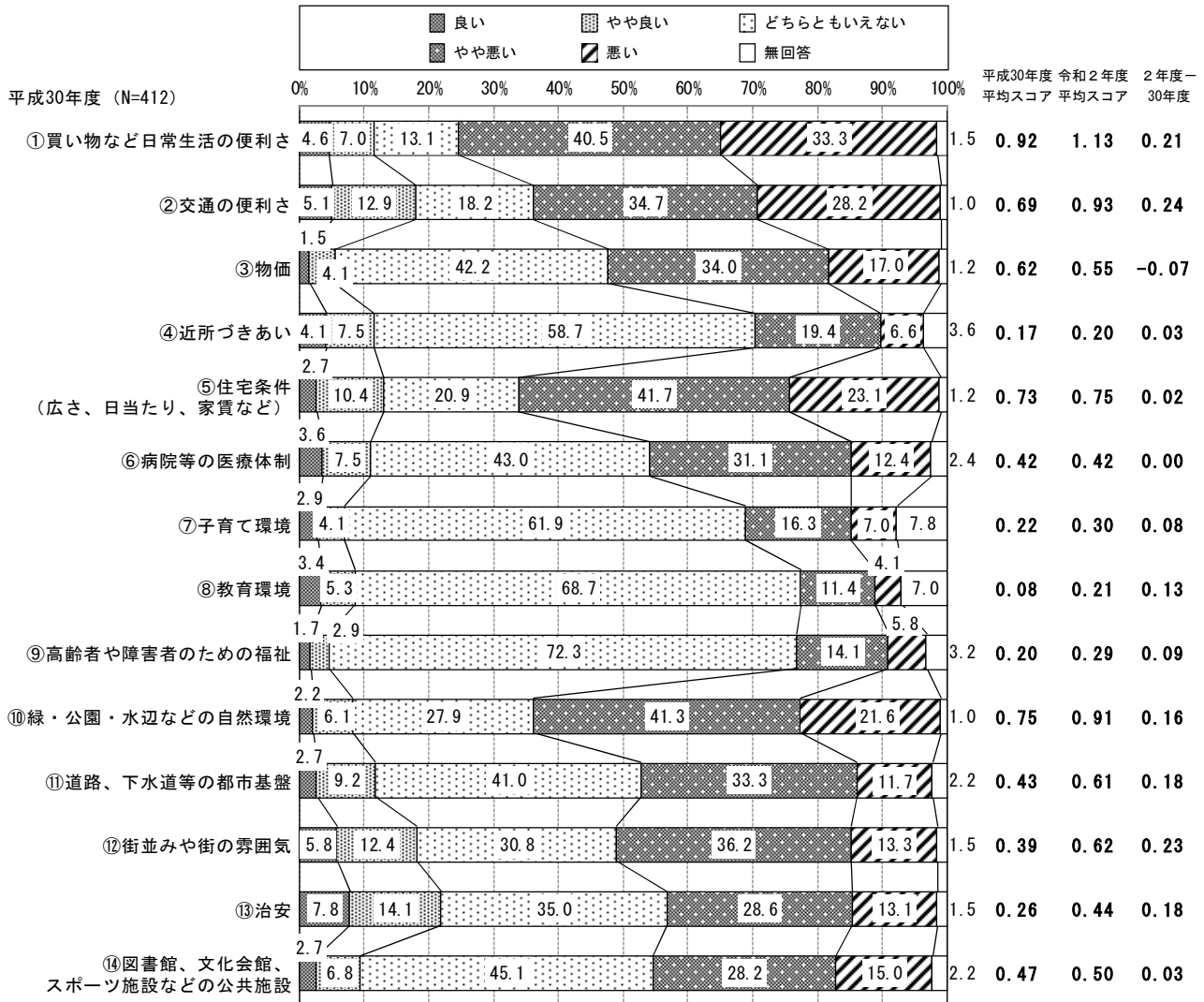
〈比較：転入先に葛飾区を選んだ理由〉



(5) 葛飾区に対する評価

平成30年度調査では、「買い物など日常生活の便利さ」の平均スコアが0.92と最も高く、次いで「緑・公園・水辺などの自然環境」が0.75、「住宅条件」が0.73の順となっています。一方、教育環境の平均スコアが0.08と低い結果になっています。

〈平成30年度調査：葛飾区に対する調査〉



今回の調査では、平均スコアの評価順位に前回の調査からの大きな変化はみられませんが、「交通の便利さ」が前回の調査から0.24ポイント、「街並みや街の雰囲気」が0.23ポイント、「買い物など日常生活の便利さ」が0.21ポイント、それぞれ評価が高くなっています。

一方、「物価」が前回の調査から0.07ポイント評価が低くなっています。

葛飾区前期実施計画作成に係る
転入者アンケート調査及び転出者アンケート調査
報告書

□発行日 /令和2年7月

□発行 /葛飾区

□企画・編集/葛飾区政策経営部政策企画課

〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

□集計・分析/株式会社CCNグループ

この冊子は、印刷用の紙へリサイクルできます。